



取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書を保護者の方と一緒に必ずお読みください。

対象年齢 6才以上

保護者の方へ

- 遊ぶ前にこの取扱説明書をお子様とよくお読みになり、正しい織り方を覚えてください。
- 初めは一緒に遊んであげてください。また、お子様が慣れるまで難しいところは、大人の方が手伝ってあげてください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- とじ針、はさみを使用する際は、お取扱いに十分ご注意ください。

もくじ

- 保護者の方へ、もくじ、セット内容・本体各部名称、セット内容以外に用意するもの…1ページ
- 本体の組み立て方について、ヨコ糸の巻き方、糸のつき直し・変更の仕方…2ページ
- 基本の織り方を覚えよう！（長いものを織ってみよう！）…3～6ページ
- 基本の織り方を覚えよう！（短いものを織ってみよう！）…7～8ページ
- 作品を作ってみよう！（マフラーを作ろう！、リボンと毛糸でポーチを作ろう！、リボンポシェットを作ろう！、タペストリーを作ろう！、バイカラートートバッグを作ろう！、ストールを作ろう！、うさぎを作ろう！）…8～11ページ
- おまけ、Q&A…12ページ

セット内容・本体各部名称

ガイドマーク
 ▲ シヤトルを右から左へ通す
 ▼ シヤトルを左から右へ通す

糸ガイドパーツ取り付け位置の目安

ロック(太): 太い毛糸のとき
自安(極太～超極太)

ロック(細): 細い毛糸のとき
自安(中細～並太)

組み立て式

●取扱説明書(本書) 1部

●そうこうパーツ ×1

●シャトル ×2

●布巻きカバー ×1

●タテ糸おさえパーツ ×1

●まっすぐ棒 ×2

●糸ガイドパーツ ×1

●まっすぐ棒キャップ ×2

●くし ×1

●棒固定パーツ ×2

●ヨコ糸用毛糸 ×2 (糸の太さ: 超極太)

●タテ糸用毛糸 ×1 (糸の太さ: 超極太)

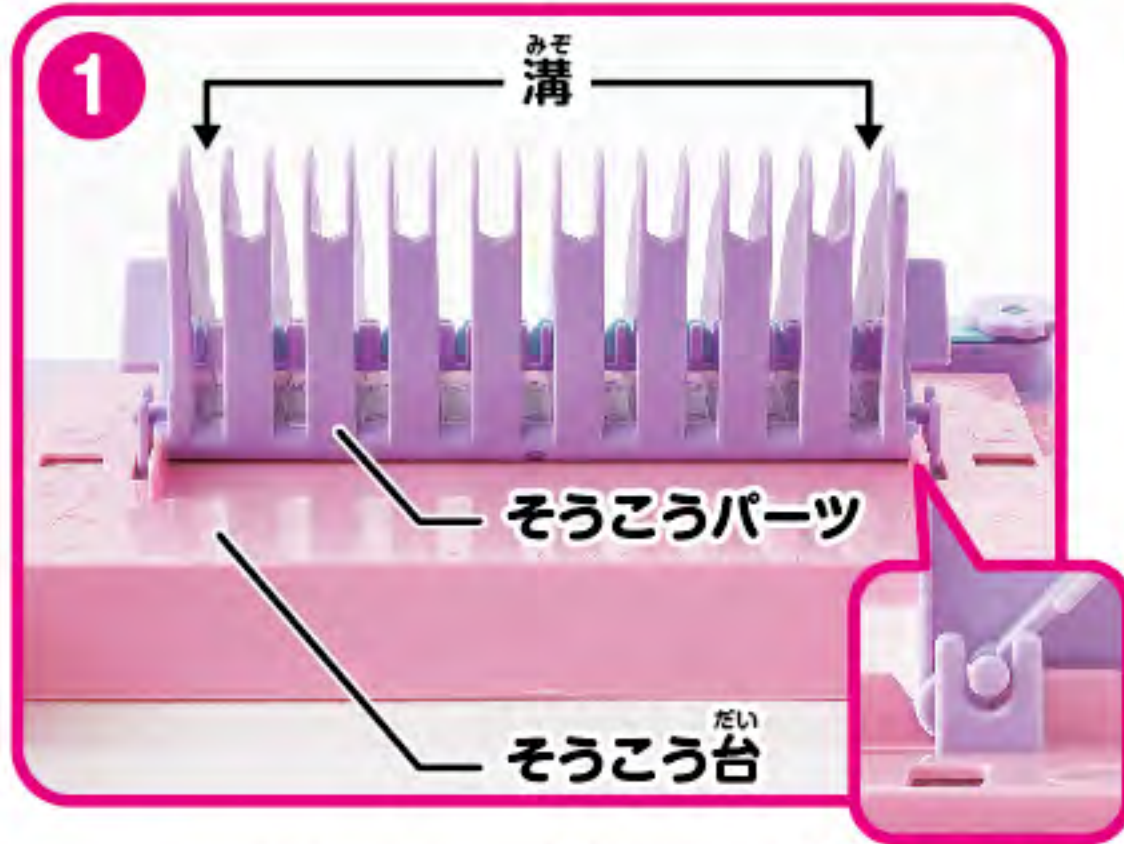
●とじ針 ×1

セット内容以外に用意するもの

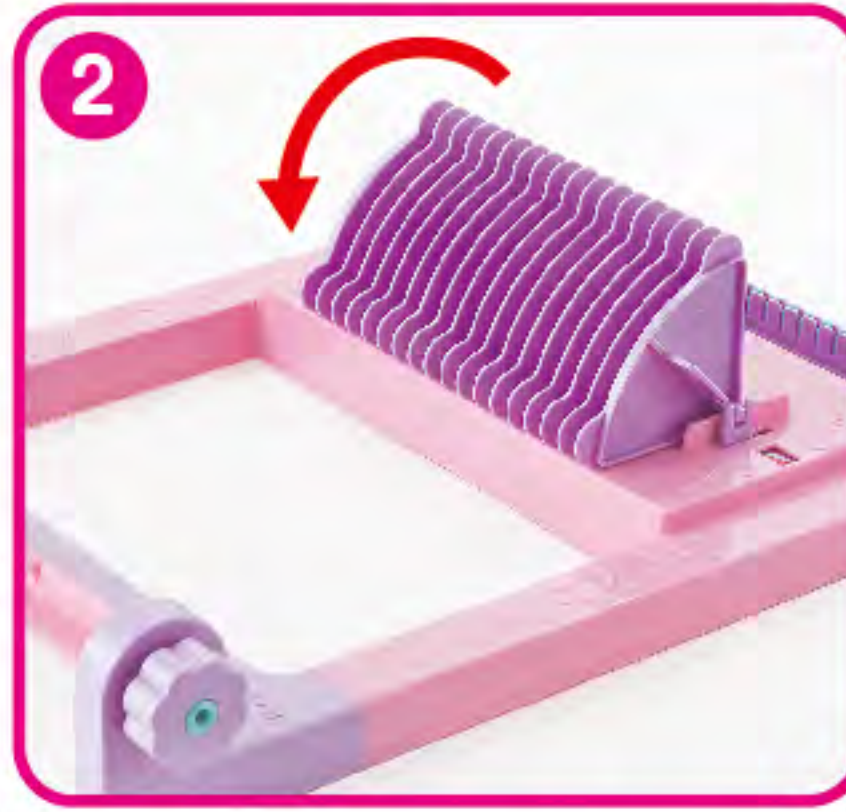
- はさみ ●メジャー(定規) ●市販のお好みの毛糸 など

※付属の毛糸以外の作例は、ハマナカ社の市販の毛糸などを使用しております。

本体の組み立て方について



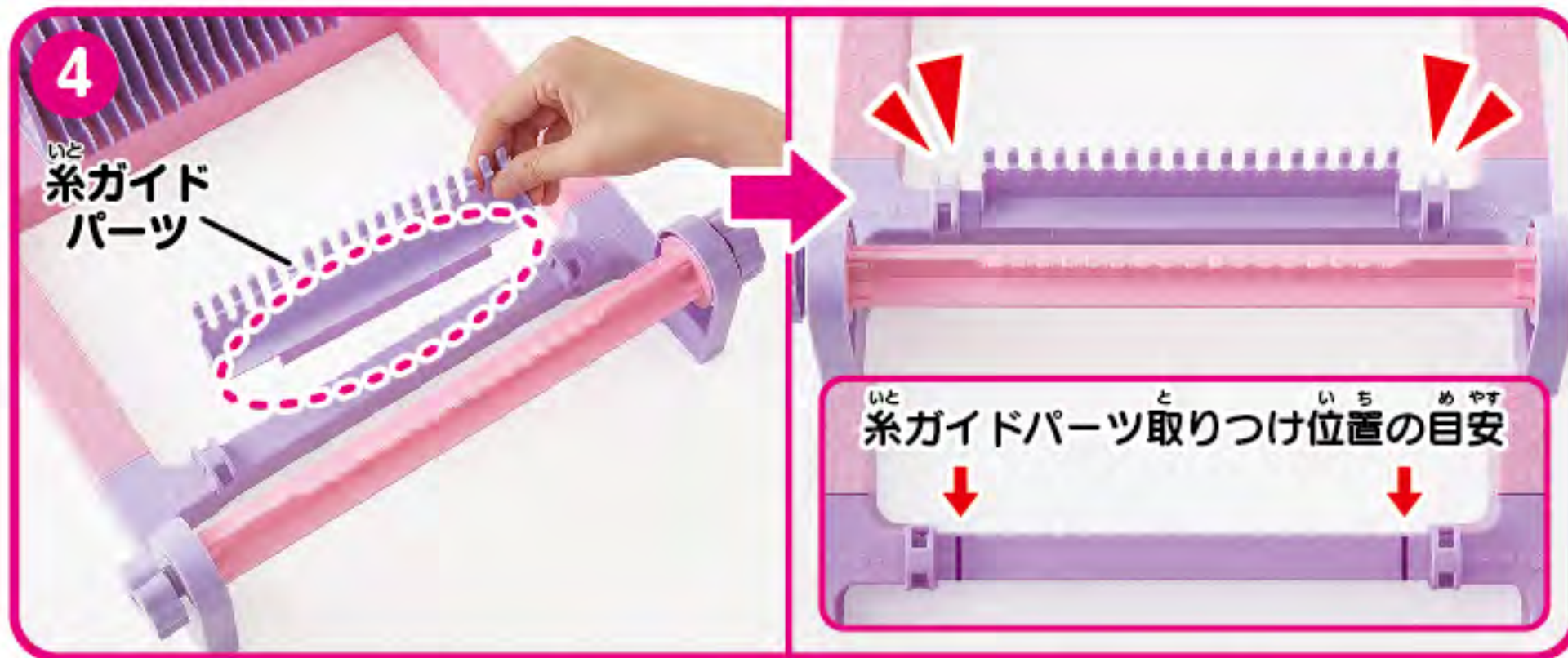
① そうこうパーツを、両サイドが溝になっている面を手前にし、そうこう台に乗せます。そうこうパーツ両側の凸部を、そうこう台から出ている凹部に合わせて乗せます。



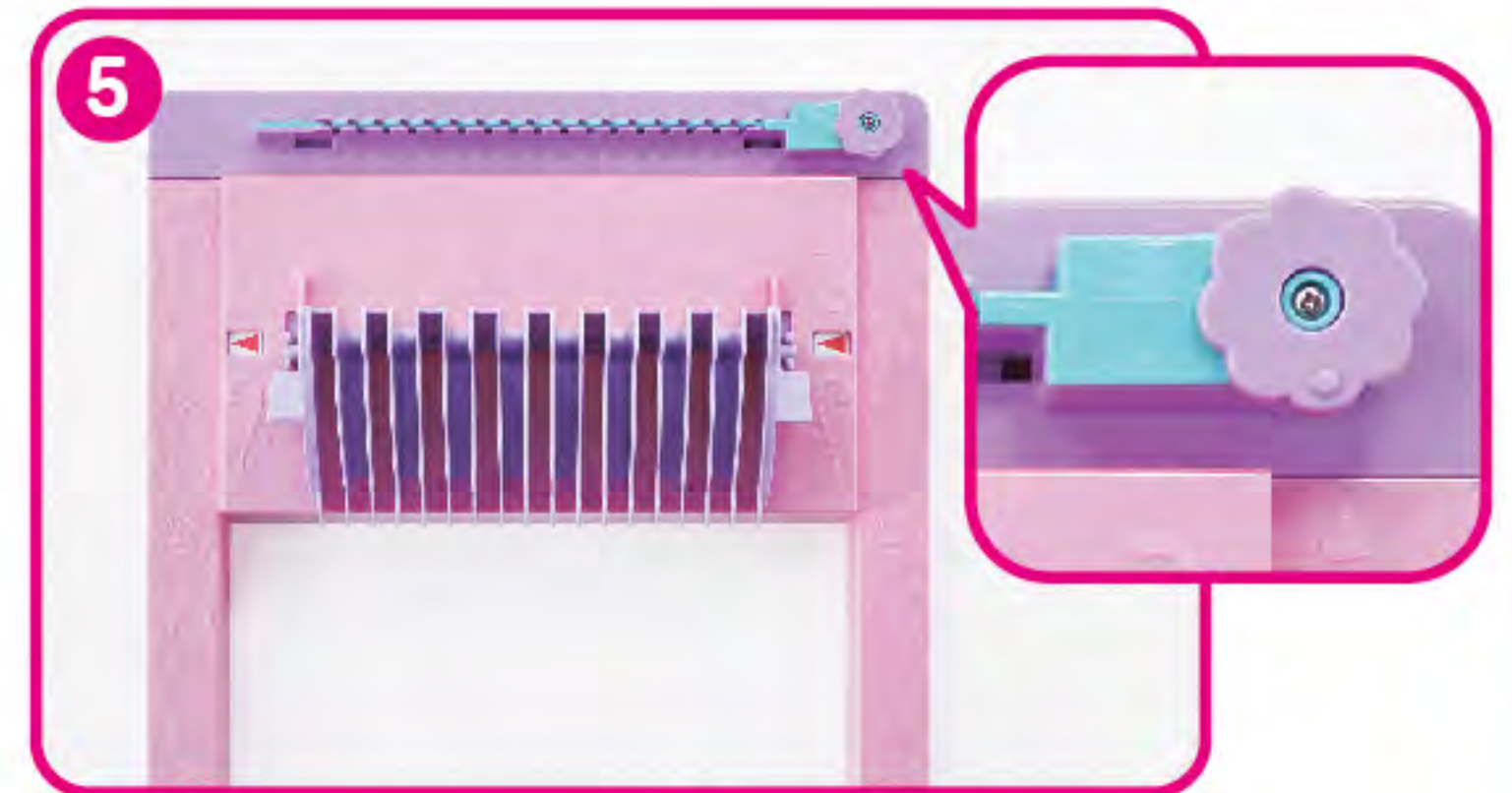
② そうこうパーツは手前に倒しておきます。



③ フロントバーに棒固定パーツを凸部が奥になるように取り付け、両端に寄せておきます。凸部は片面にしかついていません。



④ フロントバーに糸ガイドパーツを長い爪が手前になるように取り付け、フロントバーの線に両端が合うように取り付けます。



⑤ ロックダイヤルはフリーに合わせます。

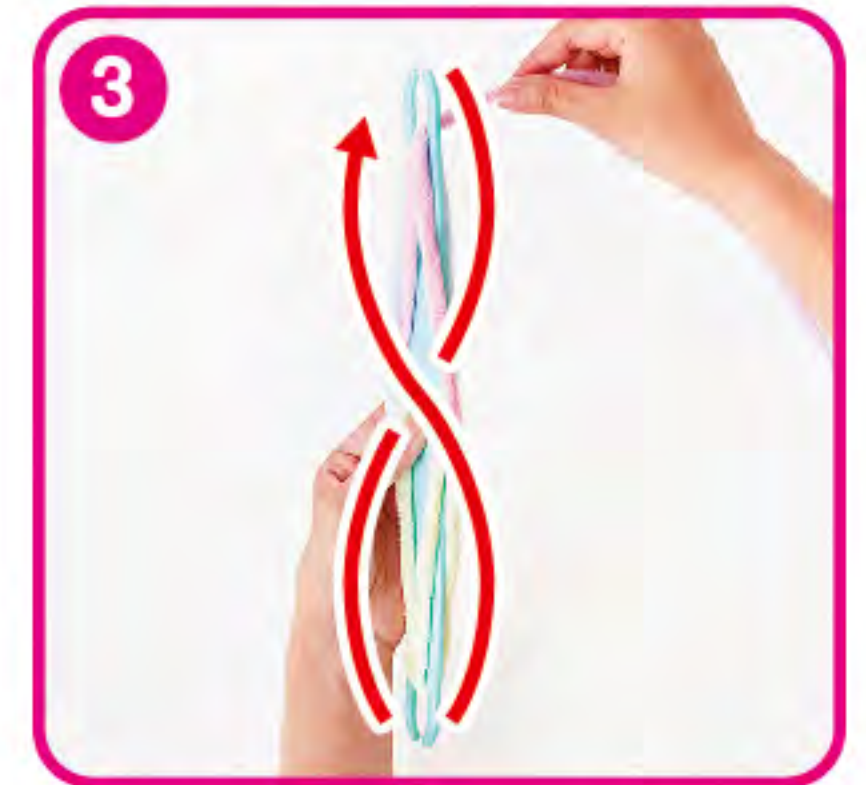
ヨコ糸の巻き方



① シャトルの切り込みにヨコ糸の糸端を挟みます。



② 横から見て8の字になるように糸を巻きます。



③ 反対側も同じように巻きます。

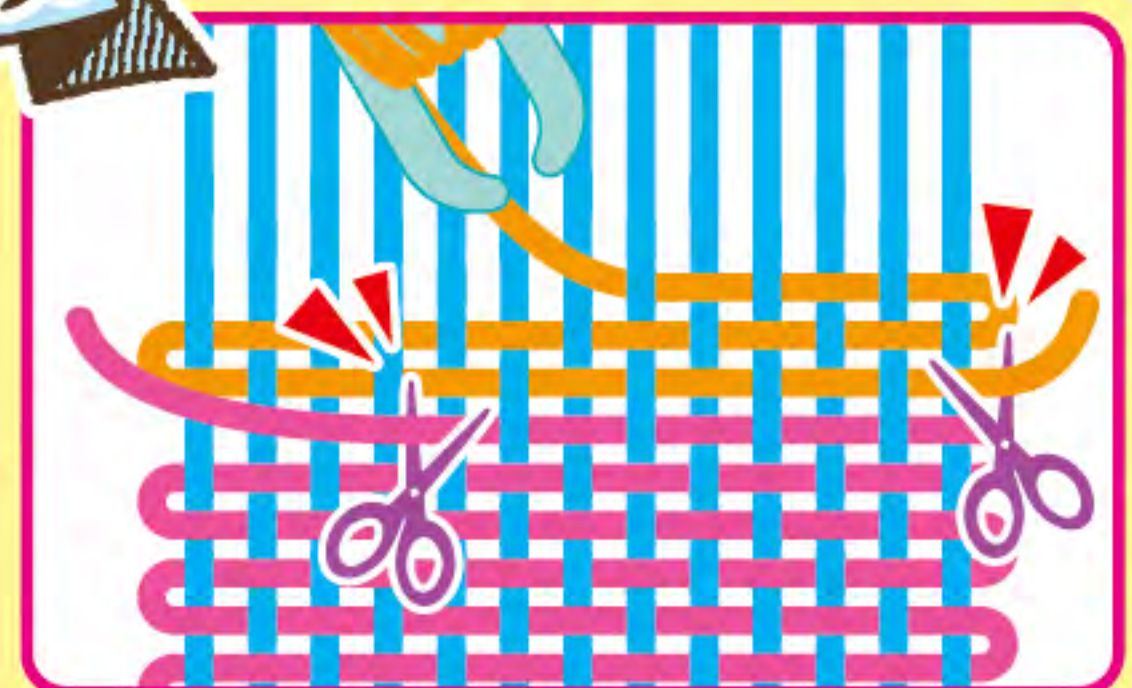


④ ②～③を繰り返して糸を巻いていきます。
※太くなると織りにくくなるので、巻きすぎないようにしてください。

ワンポイントアドバイス

糸のつき足し・変更の仕方

新しいヨコ糸を、前のヨコ糸と重ねて通し、同じように織っていきます。
※両端の糸端は切ってください。



基本の織り方を覚えよう！

一工程ごとに解説しているので、ここを見ながらやれば、カンタンです。

長いものを織ってみよう！

1. 準備をします



長さの目安

作りたい織地の長さ + 約50cm

※ タテ糸の数が奇数 (3・5・7・9・11・13・15・17) だと、まっすぐ棒が同じ高さでそろうので織るときにわかりやすいです。

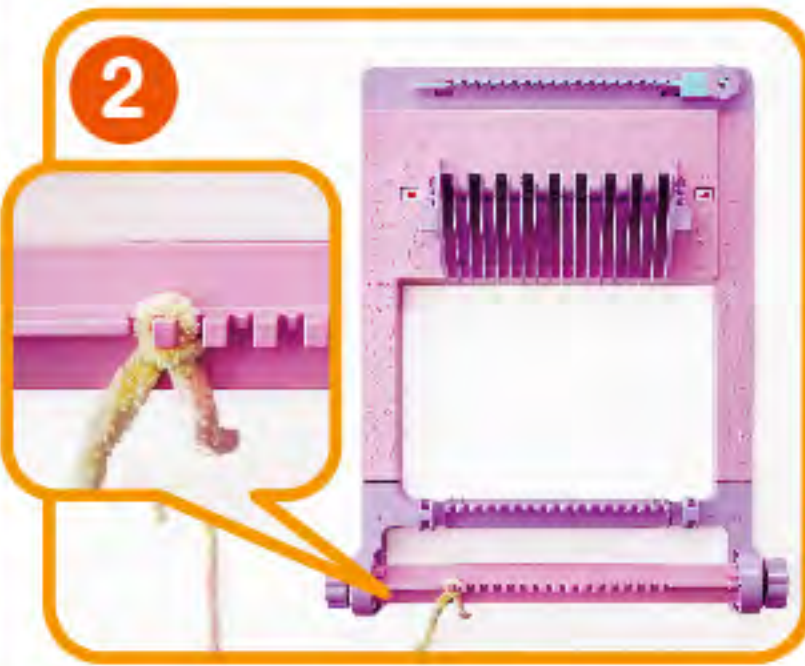
① ヨコ糸用の毛糸をシャトルに巻きま
す。※ヨコ糸の巻き方はP2を参照。

② タテ糸用の毛糸を作りたい作品にあ
わせて切ります。

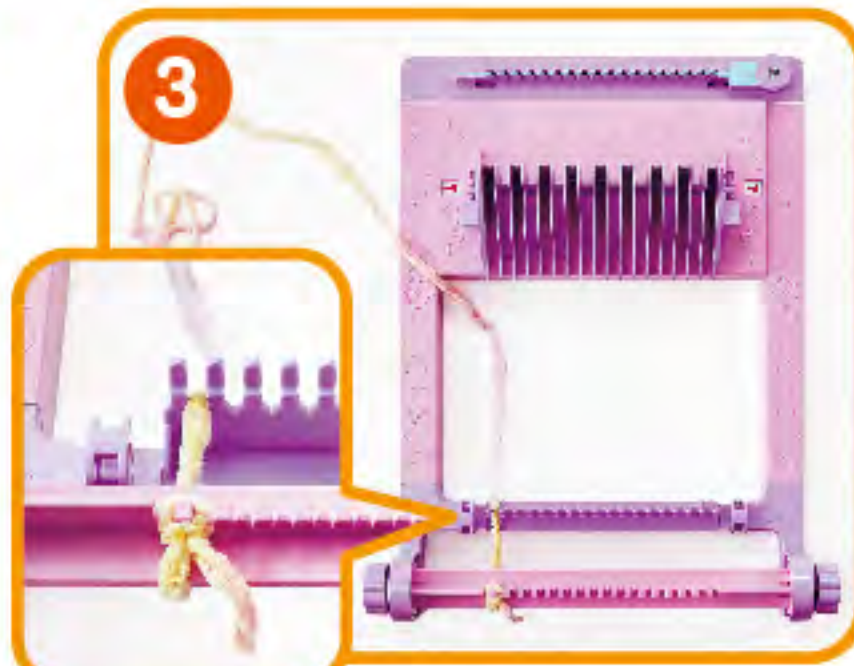
2. タテ糸をセットします



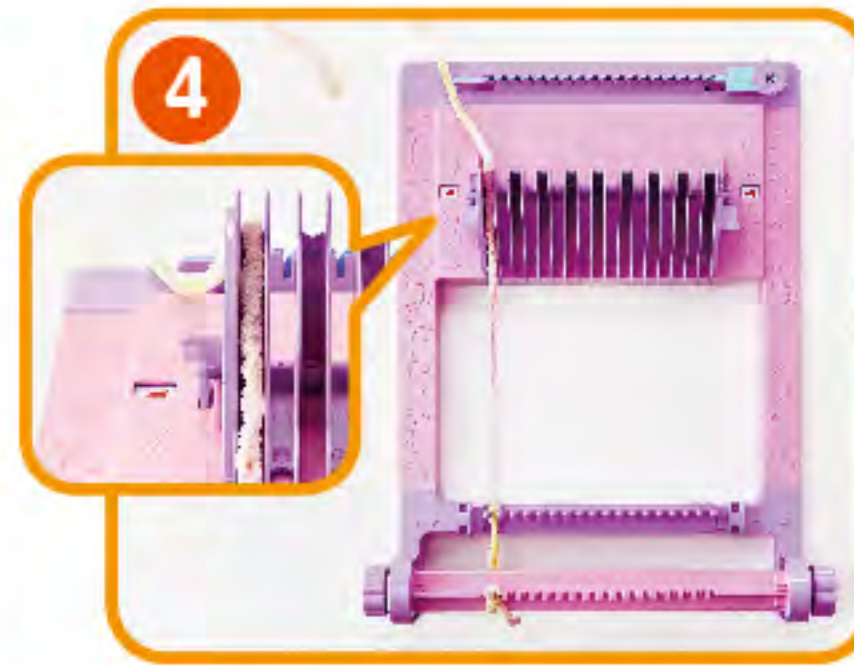
① タテ糸の端を輪にします。



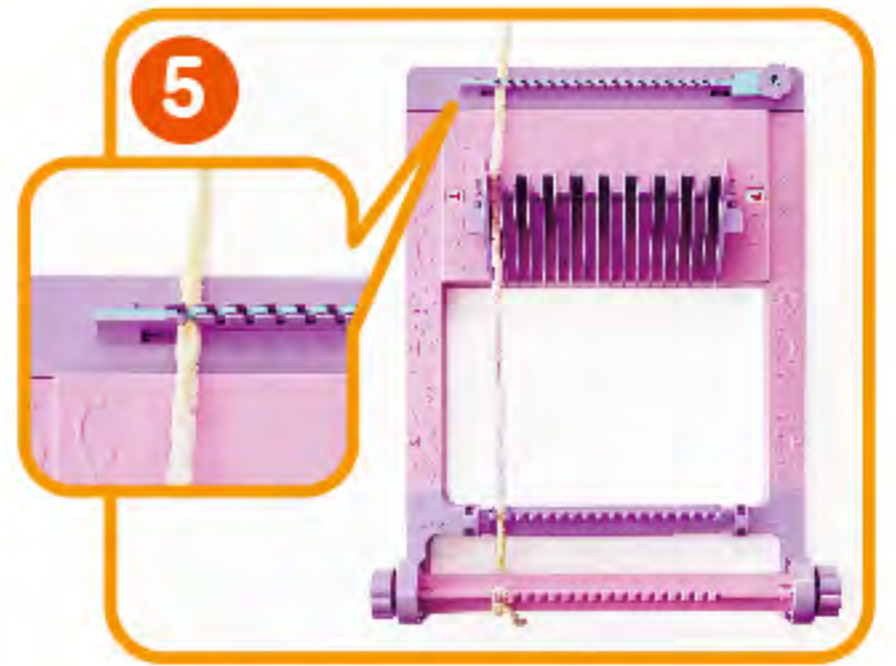
② 輪を布巻きバーの爪にかけます。



③ 布巻きバーの下から通し、糸ガイドパーツの溝に通します。



④ そうこうパーツの溝に通します。



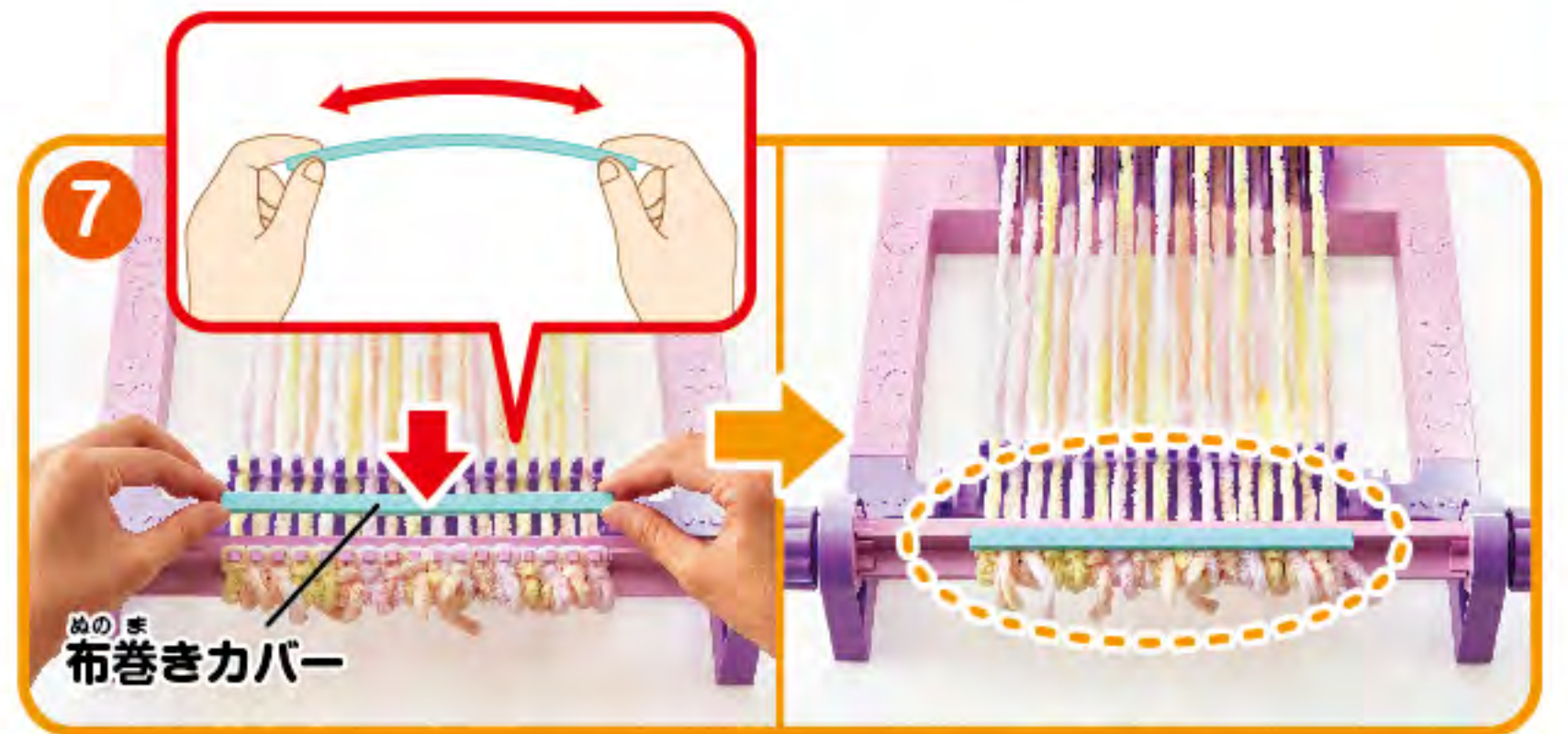
⑤ タテ糸ロック部の溝に通します。



⑥ 作りたい幅になるまで
①～⑤を繰り返します。

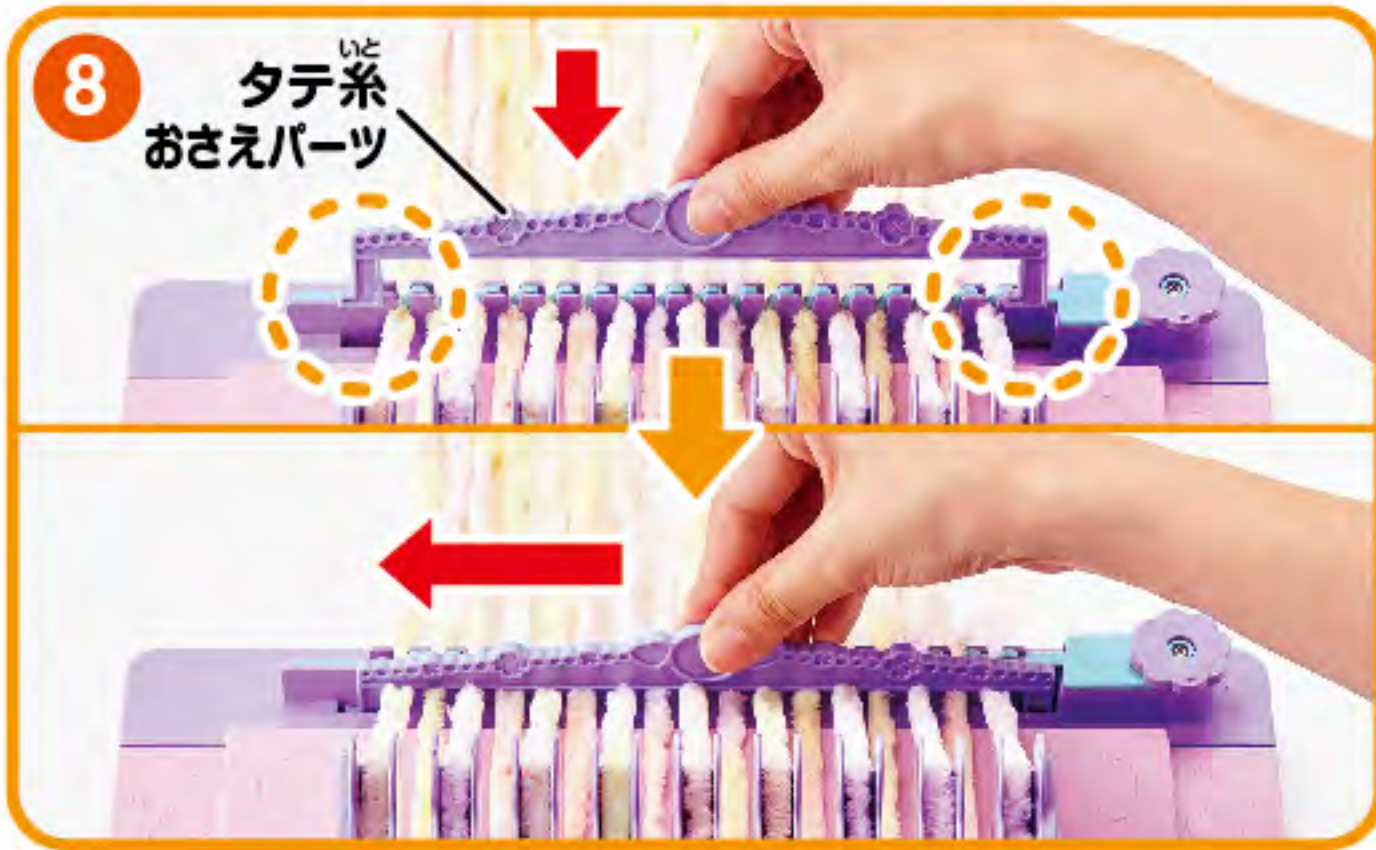


約4cm～15cmの幅ができます。
(使用する毛糸によって出来上がりサイズは異なります。)

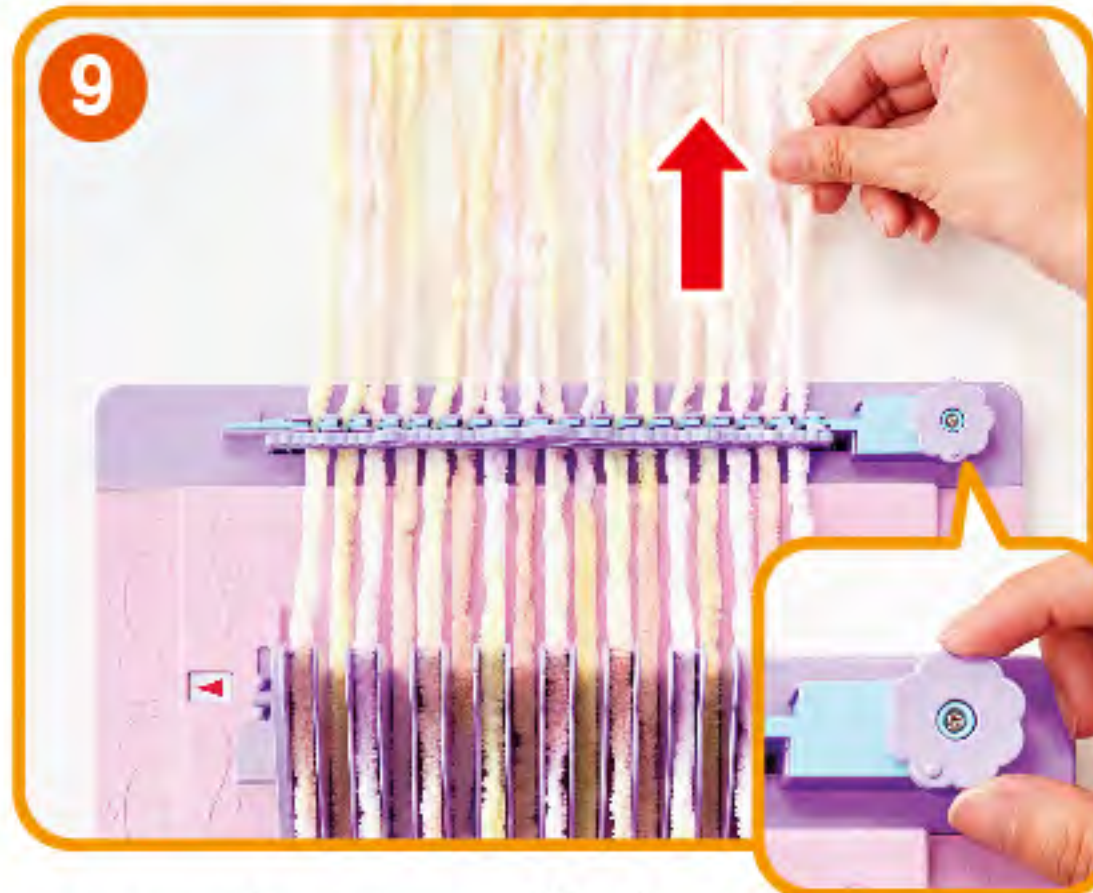


⑦ 布巻きバーに布巻きカバーを取りつけます。両端をたわませて取りつけてください。

2. タテ糸をセットします (つづき)



⑧ タテ糸ロック部の穴にタテ糸おさえパーツの爪を写真の向きに入れ、左にスライドさせて取りつけます。



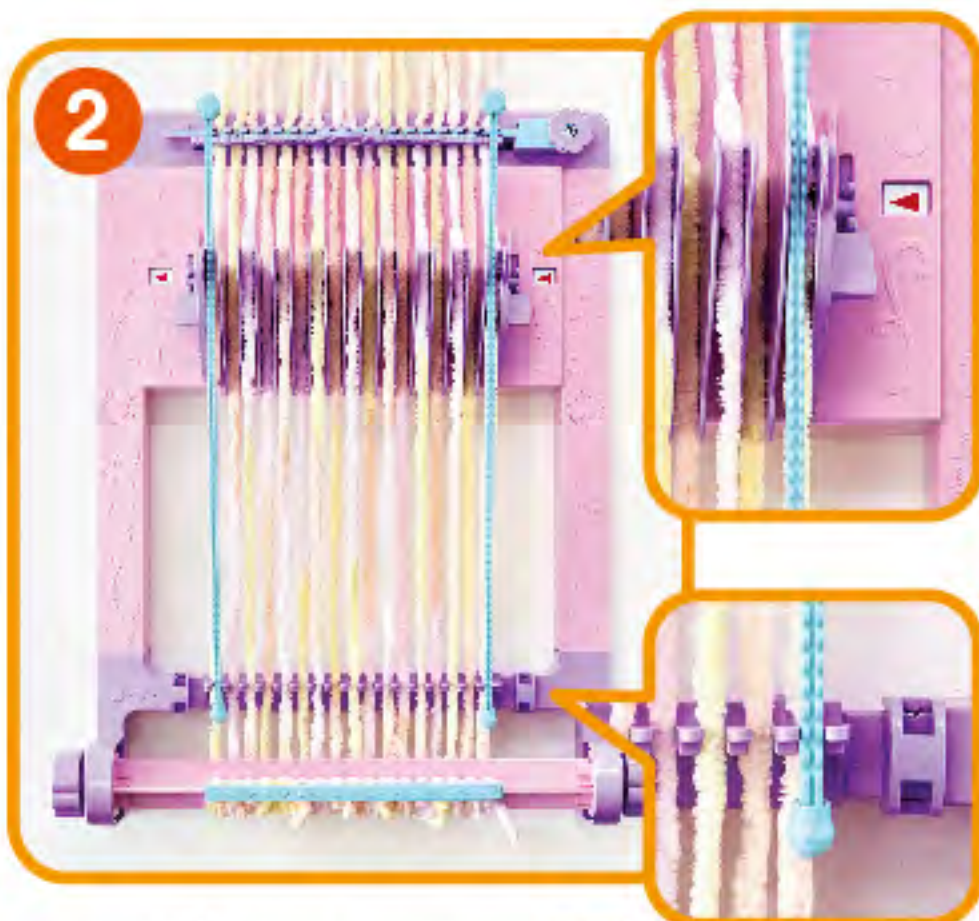
⑨ ゆるみを取るようにタテ糸を引っ張り、ロックダイヤルを糸の太さによってロック(太)か(細)に合わせます。

3. まっすぐ棒をセットします

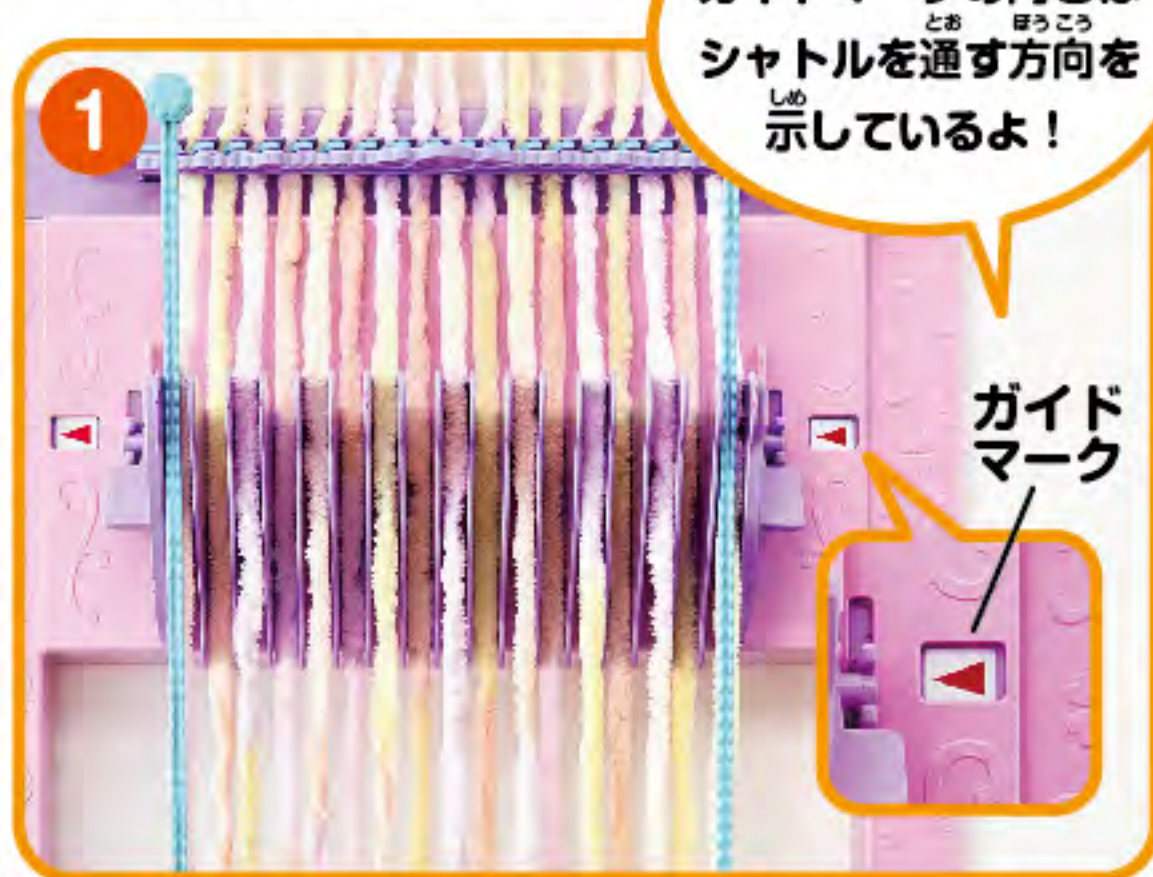


① まっすぐ棒の先端にまっすぐ棒キャップを取りつけます。

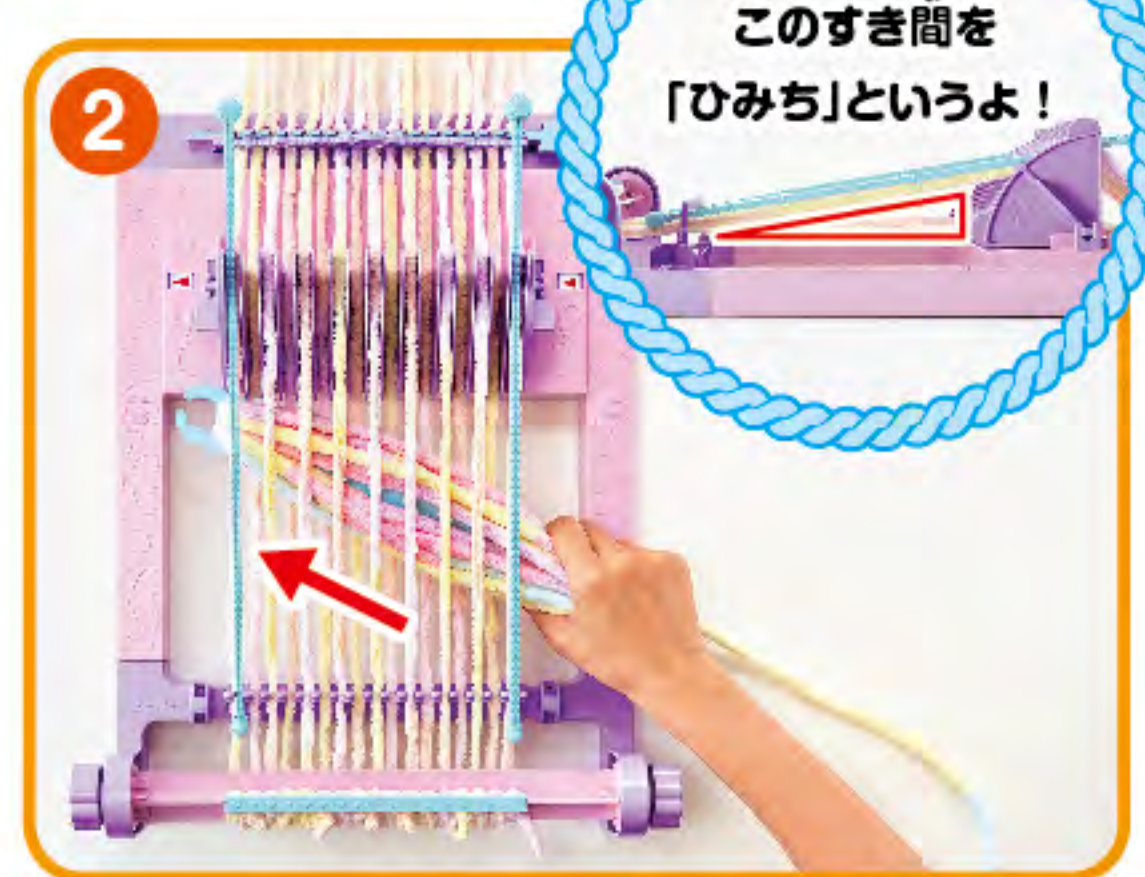
4. 織ります



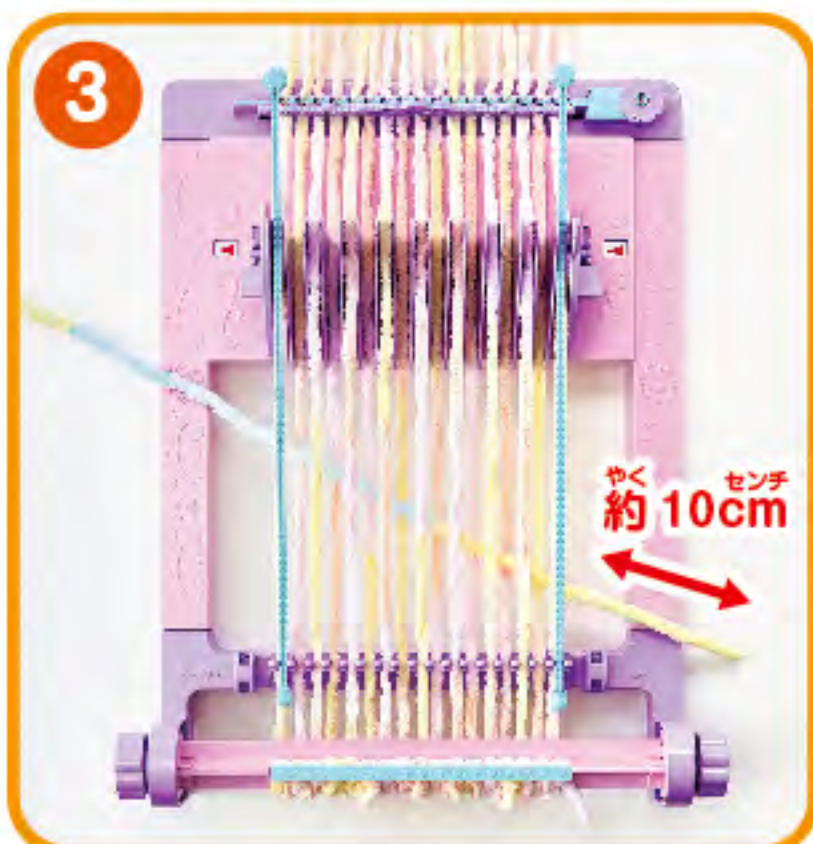
② タテ糸がかかっている両端のところが、糸ガイドパーツの溝にまっすぐ棒を通します。



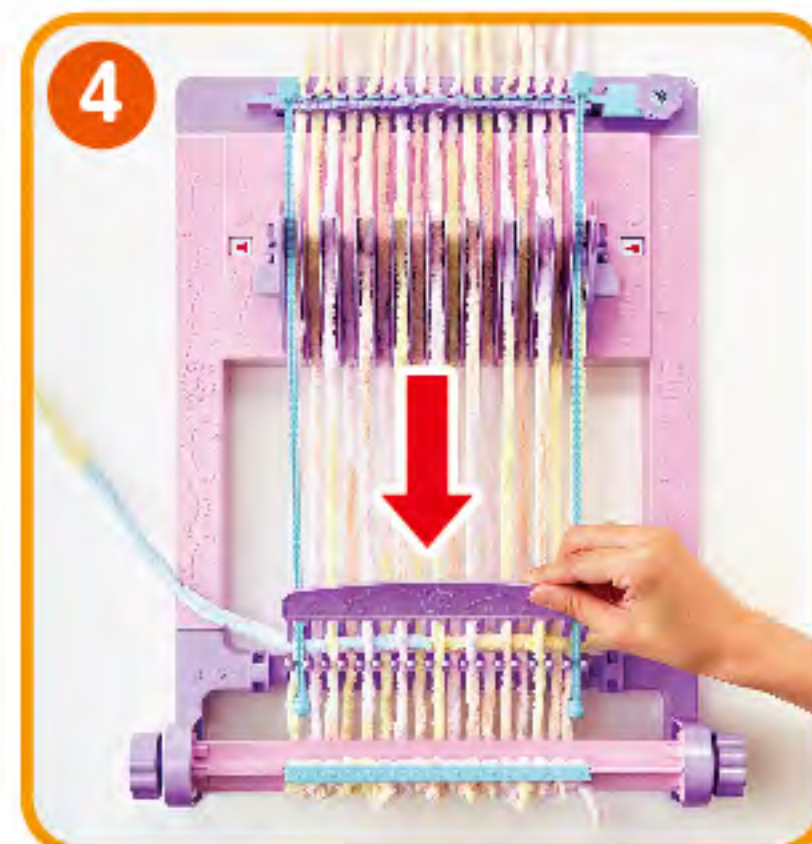
① ガイドマークが左向きになっていることを確認します。もし右向きになっていたら、そこのパーツを倒してください。



② ひみちの右側から左側へ、ヨコ糸が巻いてあるシャトルを斜めに通します。



③ 始めはヨコ糸の端を約10cm残しておきます。



④ 斜めに通したヨコ糸をくしで手前へ引き寄せます。



⑤ そこのパーツを奥側に倒し、ガイドマークが右向きになっていることを確認します。



⑥ ひみちの左側から右側へシャトルを通し、同じようにくしで引き寄せます。

ワンポイントアドバイス



タテ糸とヨコ糸の間のできるすき間が正方形になるように織っていると、きれいに織れます。



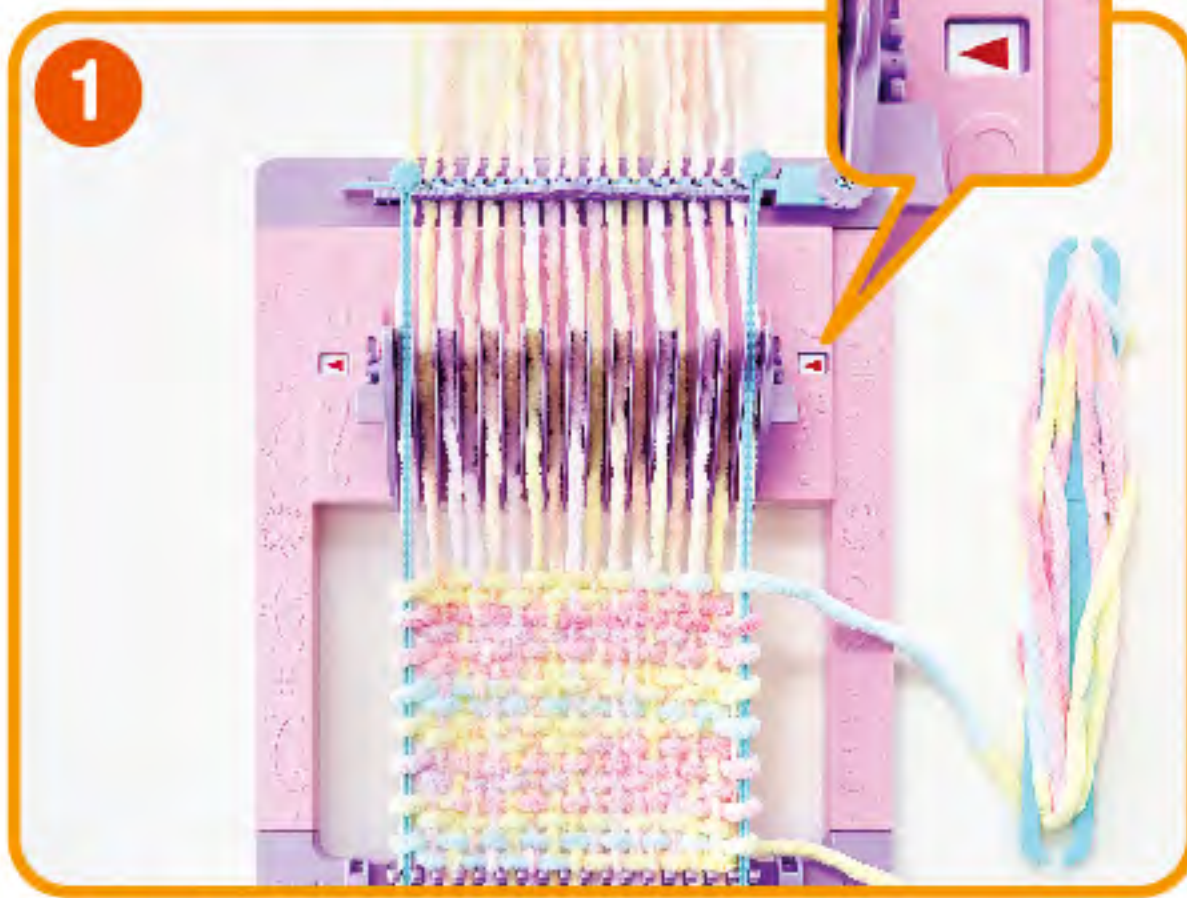
⑦ ①～⑥を繰り返して織っていきます。

ワンポイントアドバイス



タテ糸がゆるんでひみちが狭くなった場合は、タテ糸を引っ張ってゆるみをとってください。

5. 巻き取ります



① ひみちが狭くなり、シャトルが通らなくなったら巻き取りの準備をします。ガイドマークは左向き、シャトルは右側の状態にしてください。



② まっすぐ棒キャップを外します。



③ まっすぐ棒を引き抜きます。



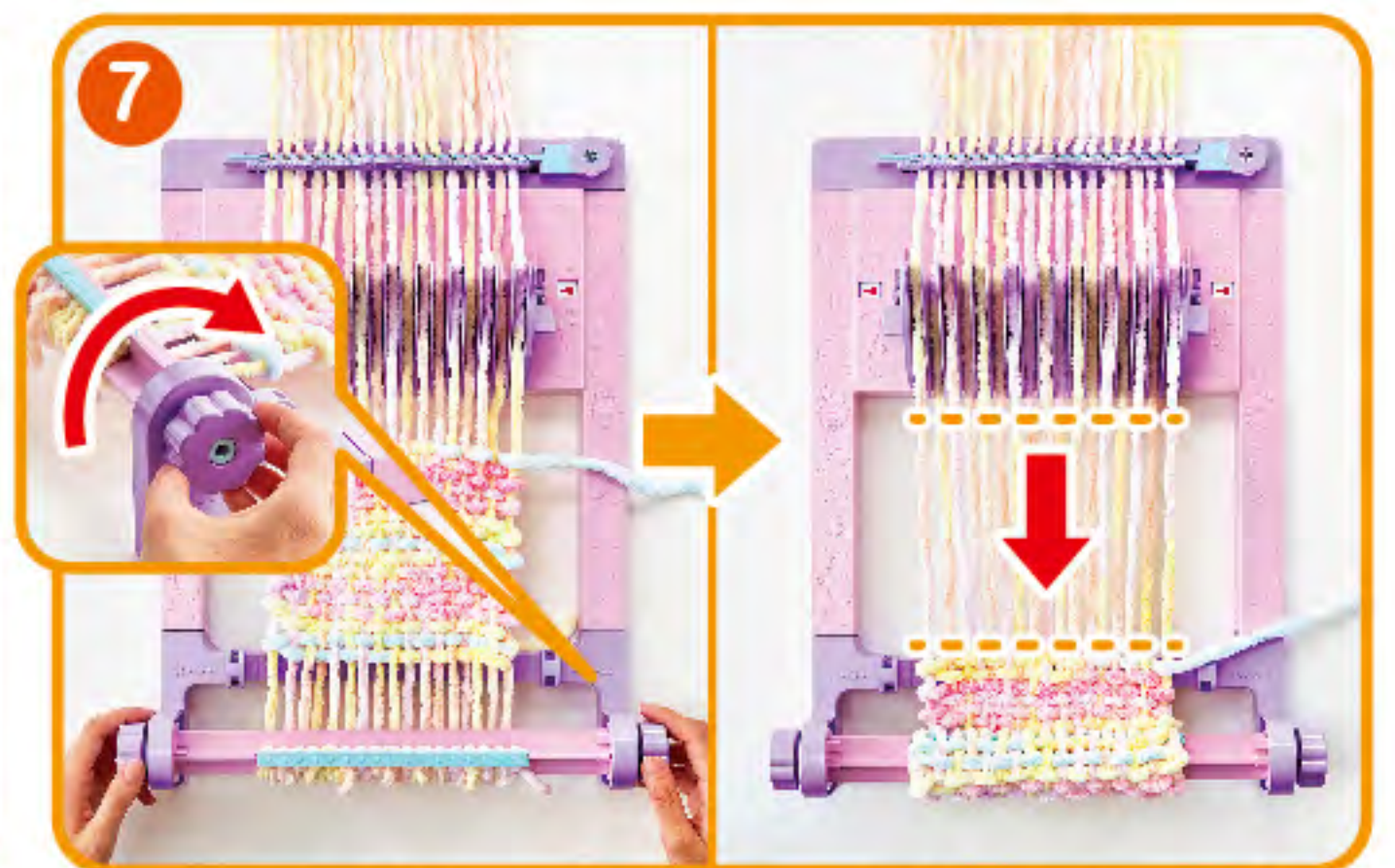
④ ロックダイヤルをフリーに合わせます。



⑤ 織地を糸ガイドパーツから外します。



⑥ 糸ガイドパーツをフロントバーから取り外します。



⑦ ハンドルを手前から奥に回して、写真の位置まで織地を巻き取ります。



⑧ タテ糸がかかっている両端の位置まで、棒固定パーツを移動させます。カチッと溝にはまる位置で固定してください。

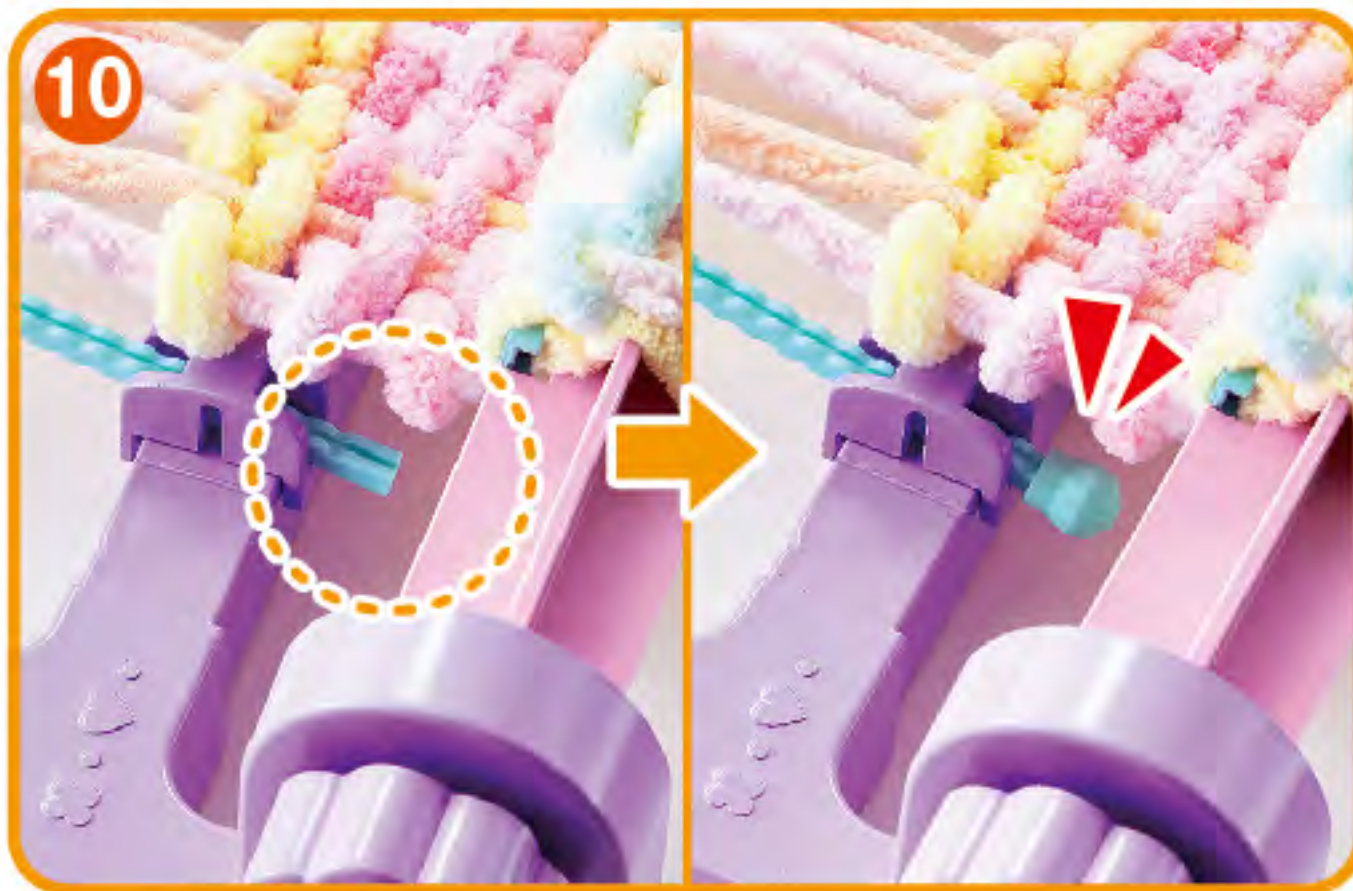


⑨ まっすぐ棒をそうこうパーツに通した後、棒固定パーツに通します。

ワンポイントアドバイス

一度巻き取って棒固定パーツで固定したら、糸ガイドパーツは使わなくても大丈夫だよ！

ヨコ糸の下をまっすぐ棒が通るようにします。



⑩ まっすぐ棒キャップを取りつけます。



⑪ ゆるみを取るようにタテ糸を引っ張り、ロックダイヤルを毛糸の太さによってロック(太か(細)に合わせます。



⑫ 繰り返し織っていき、またひみちが狭くなったら、①～④、⑦～⑪の方法で巻き取ります。

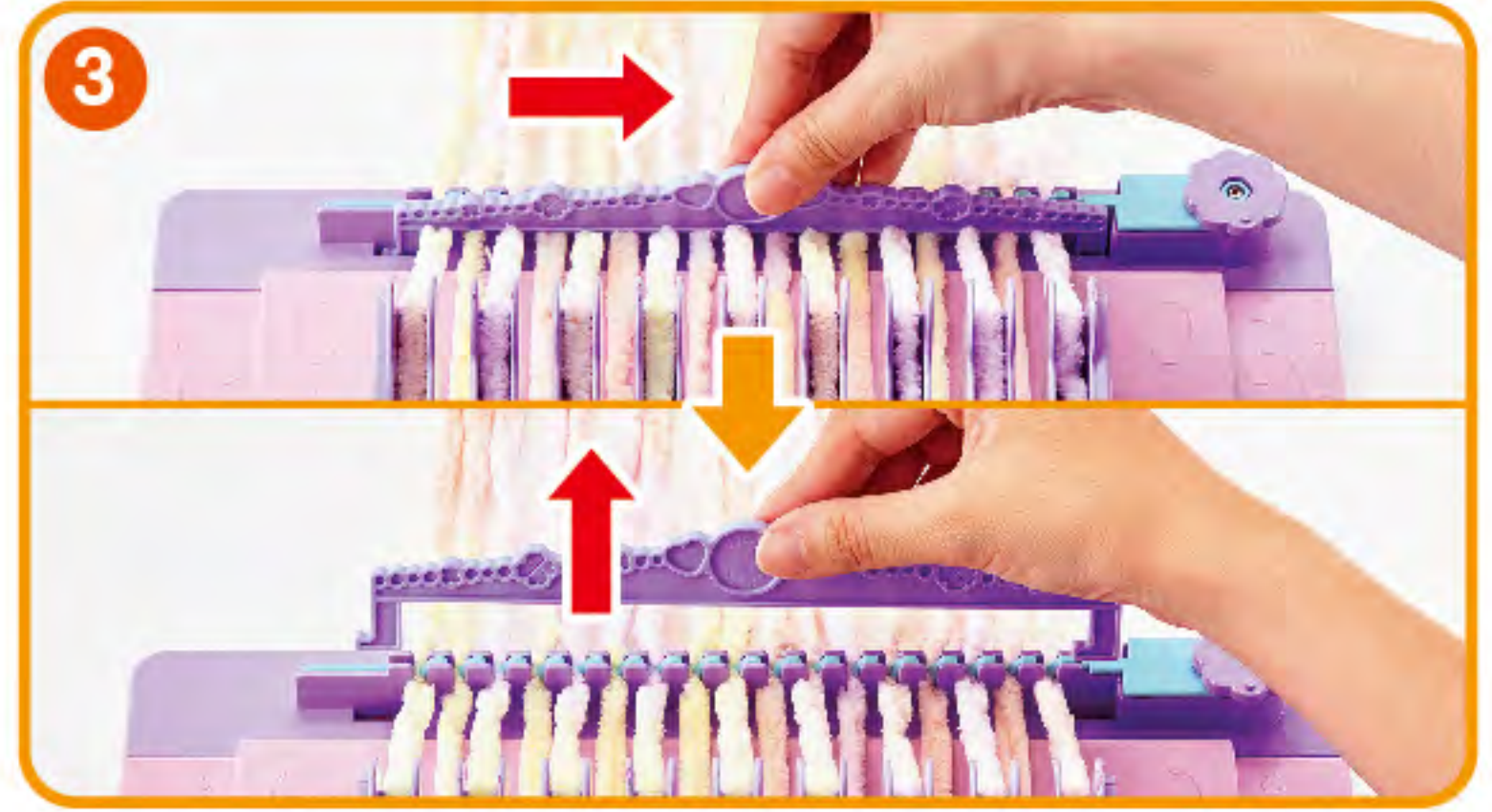
6. 織地を本体から外します



① 必要な長さまで織れたら、まっすぐ棒キャップを外し、まっすぐ棒を引き抜きます。



② ロックダイヤルをフリーに合わせます。



③ タテ糸おさえパーツを右方向にスライドさせてから外します。



④ タテ糸をタテ糸ロック部、そうこうパーツから外します。



⑤ 右側のハンドルを右方向に引っ張りながら、奥から手前に回します。



⑥ 布巻きカバーを外します。



⑦ タテ糸を布巻きバーから外します。



⑧ タテ糸の始めの輪は引っ張って外し、まっすくにしておきます。

7. 織り終わりの始末をします



① ヨコ糸は、とじ針をつけて自立ないように織地に通し、余った糸は切ります。＊タテ糸と同じように房の方にまとめてもOKです。



② タテ糸は隣同士、2～3本をまとめて結んでください。

みじか お
短いものを織ってみよう!

じゅん び
1. 準備をします

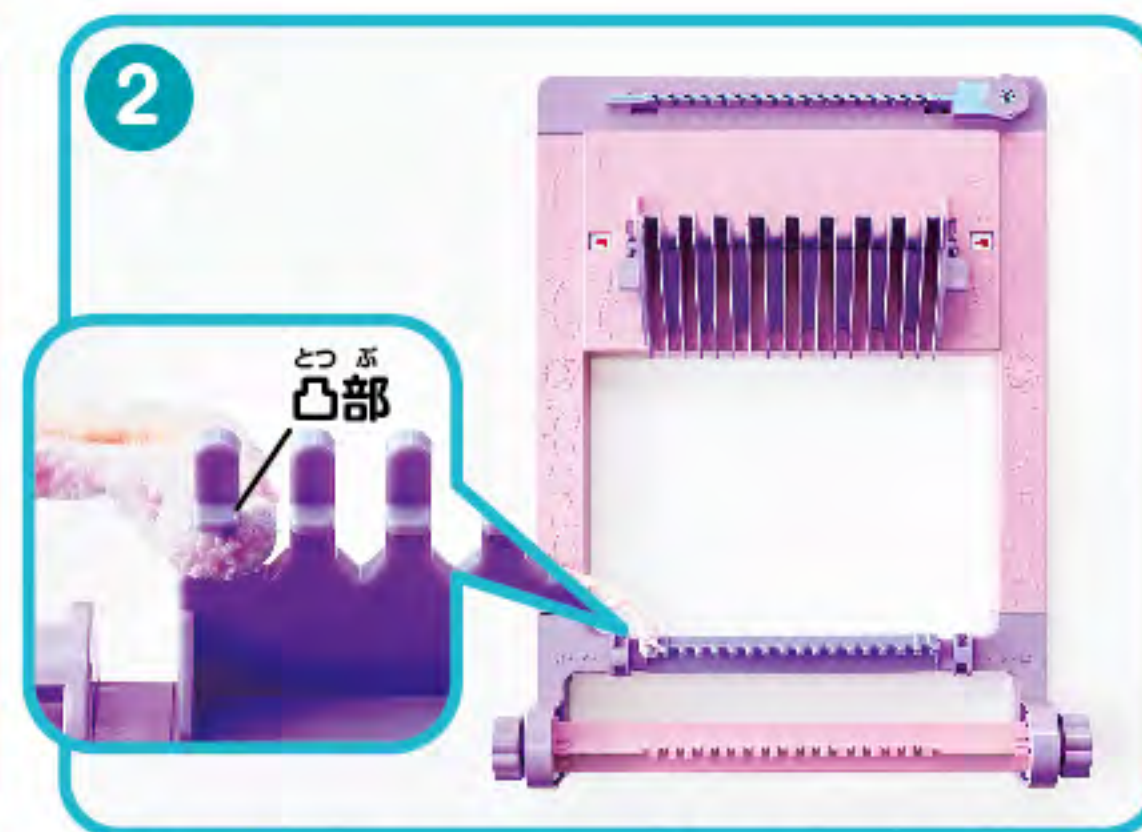


いと よろ け いと ま
ヨコ糸用の毛糸をシャトルに巻きます。
※P2「ヨコ糸の巻き方」を参照。

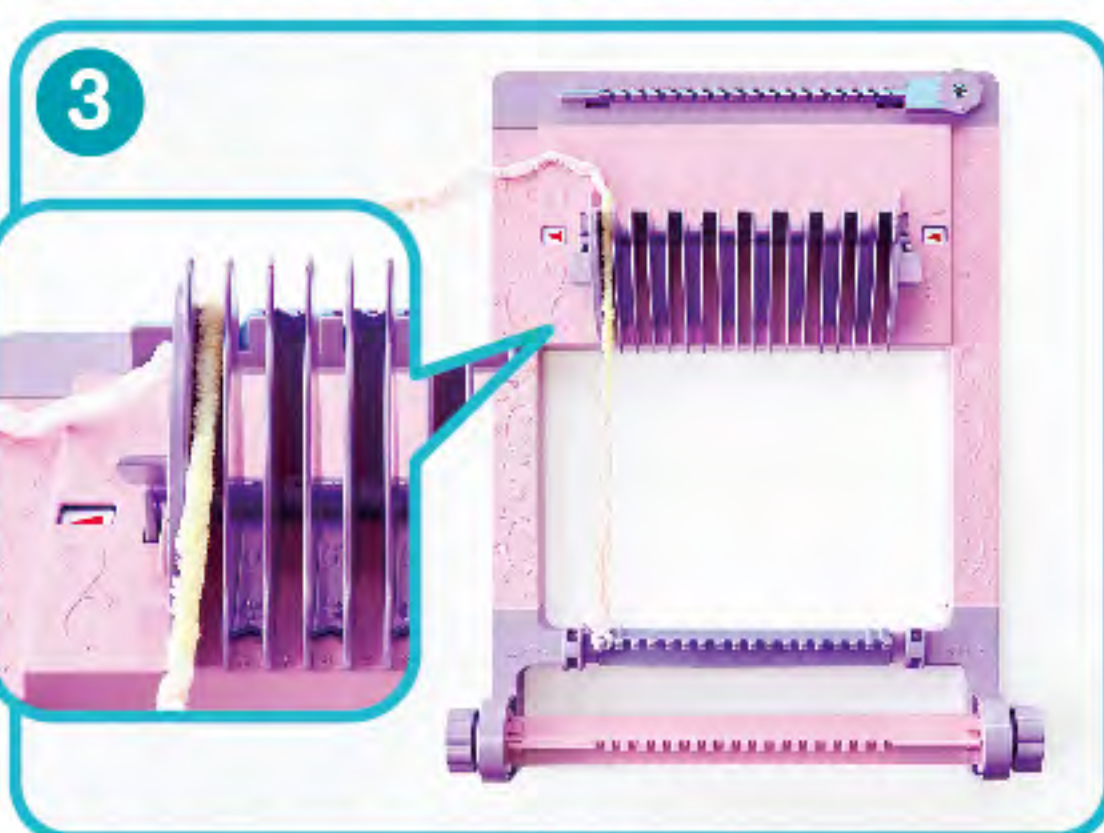
いと
2. タテ糸をセットします



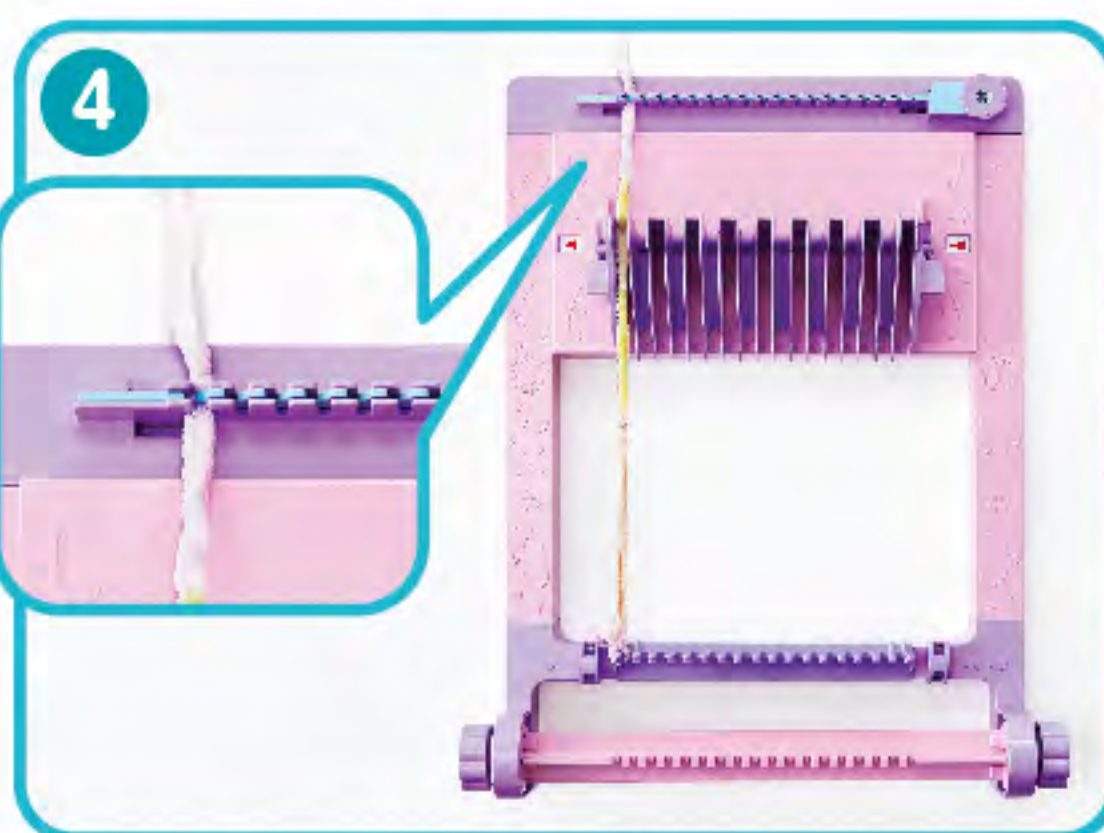
① タテ糸の端を輪にします。
※P3の2-①を参照。



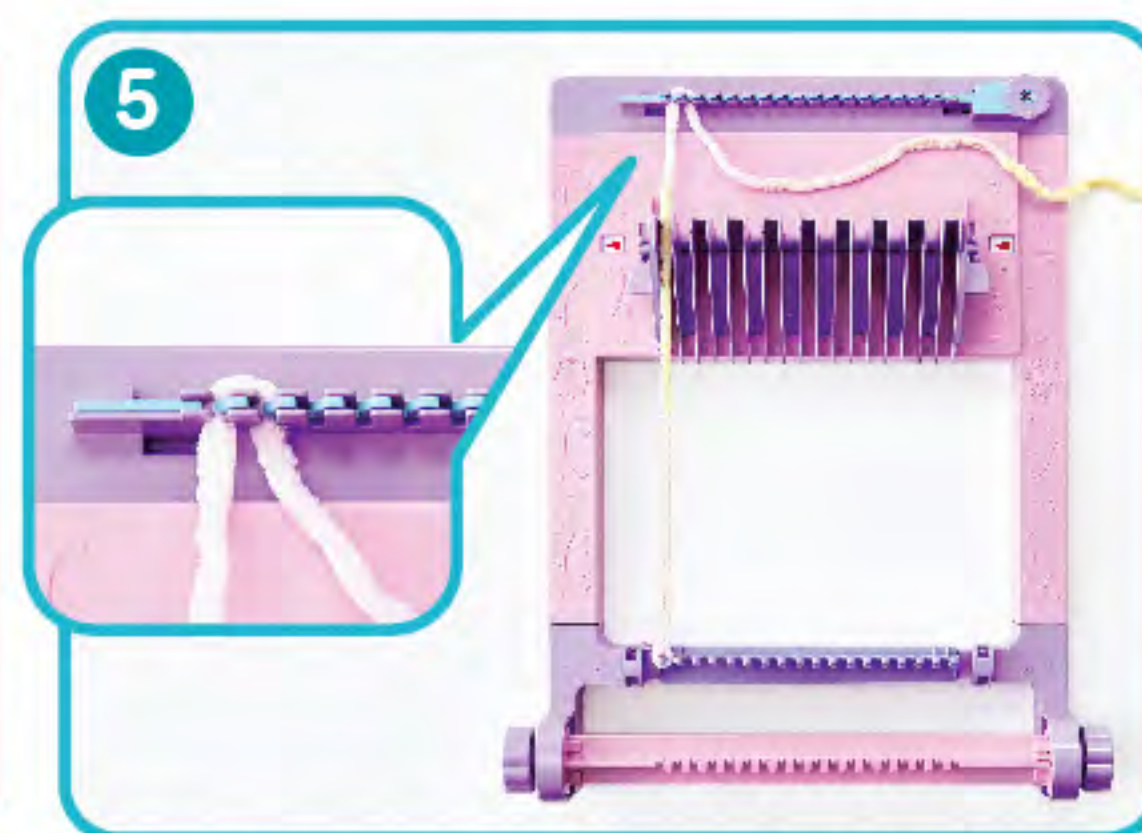
② 輪を糸ガイドパーツの爪にかけます。このとき爪の凸部より下に糸が来るようにします。



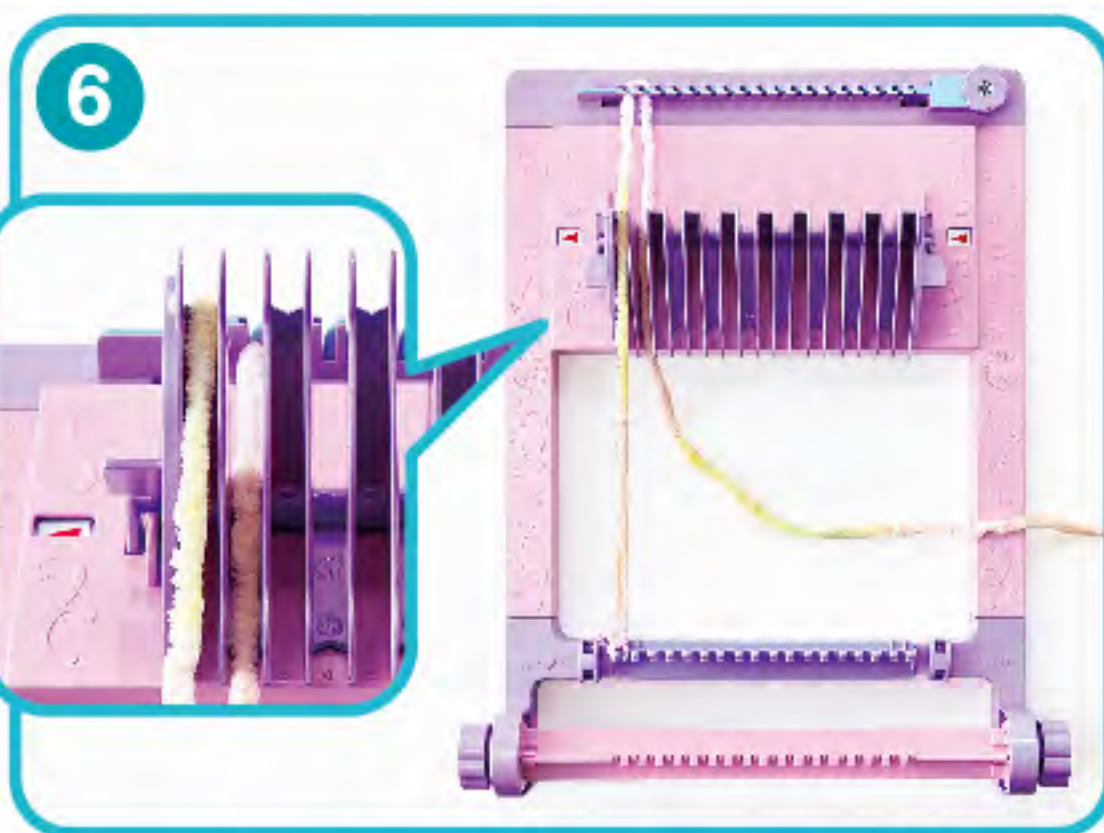
③ そうこうパーツの溝に通します。



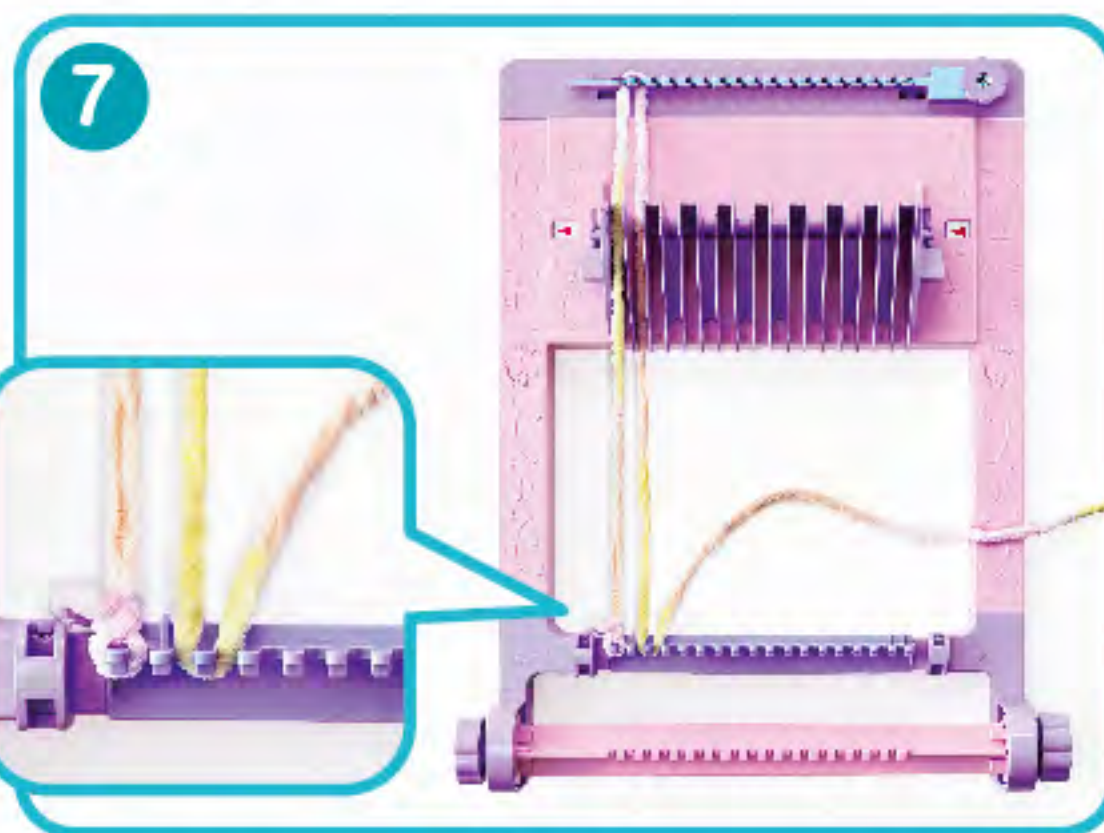
④ タテ糸ロック部の溝に通します。



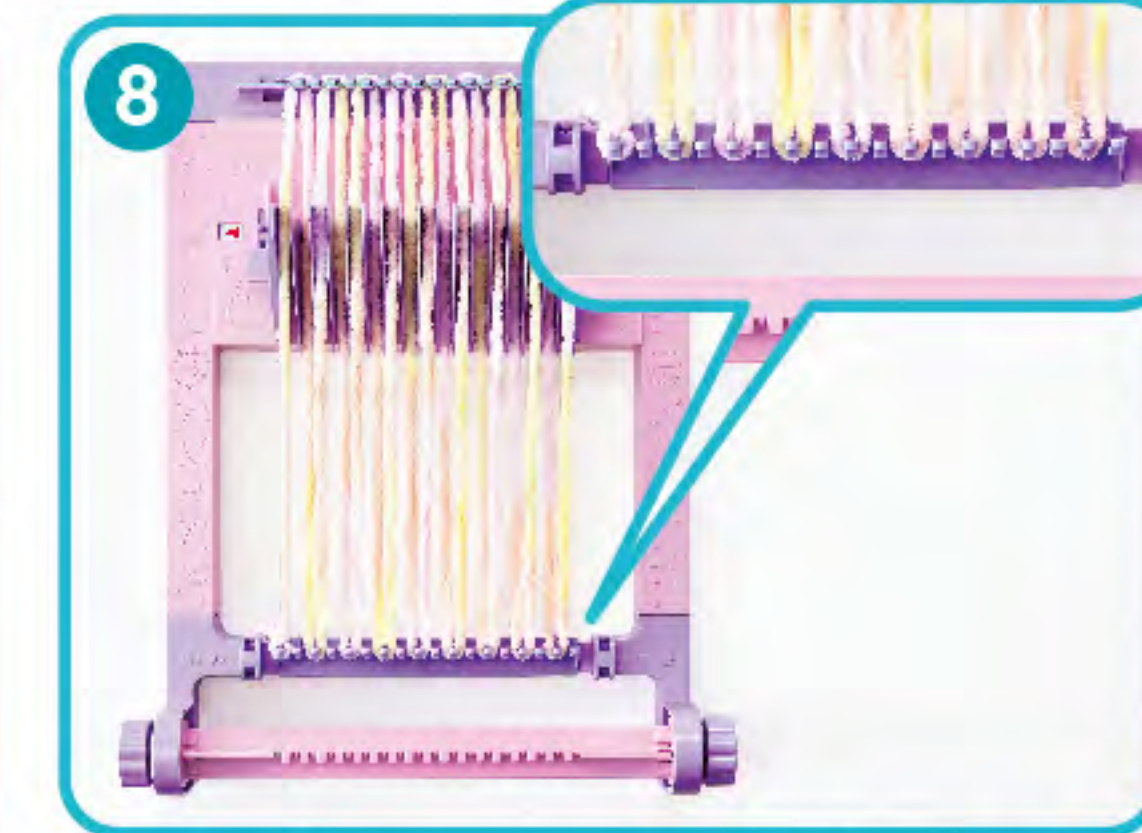
⑤ 折り返して、隣のタテ糸ロック部の溝に通します。



⑥ ③で通した隣のそうこうパーツの溝に通します。



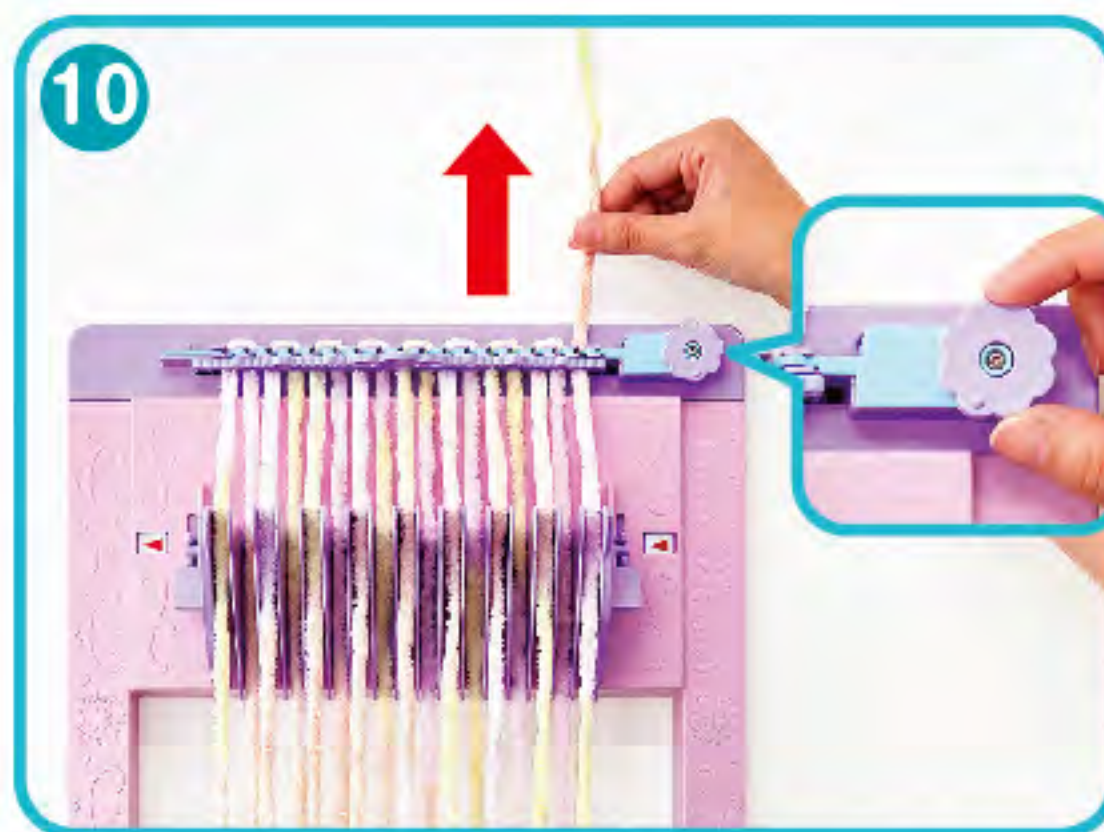
⑦ ②でかけた2個隣の糸ガイドパーツの爪に糸をかけます。



⑧ 必要な幅になるまで③～⑦を繰り返します。糸はゆるまないようにかけていき、最後のタテ糸はタテ糸ロック部の方から出るようにしてください。

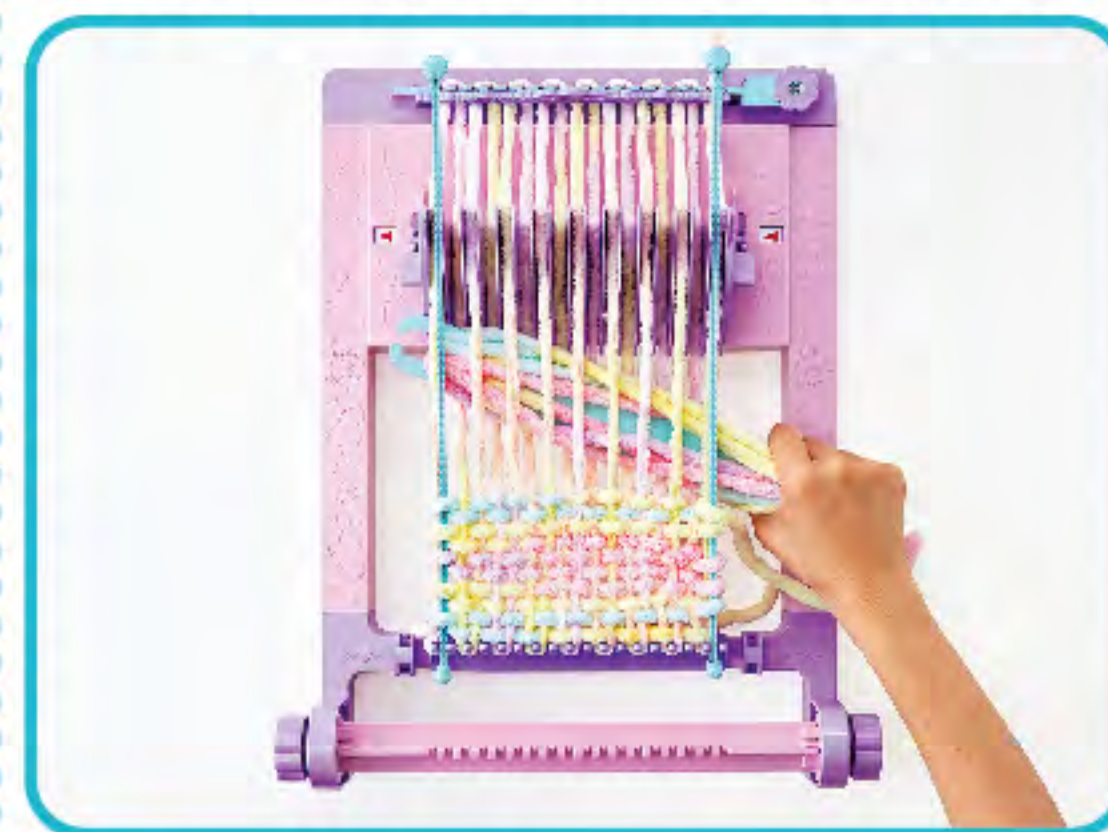


⑨ タテ糸ロック部にタテ糸おさえパーツを取ります。※P4の2-⑥を参照。



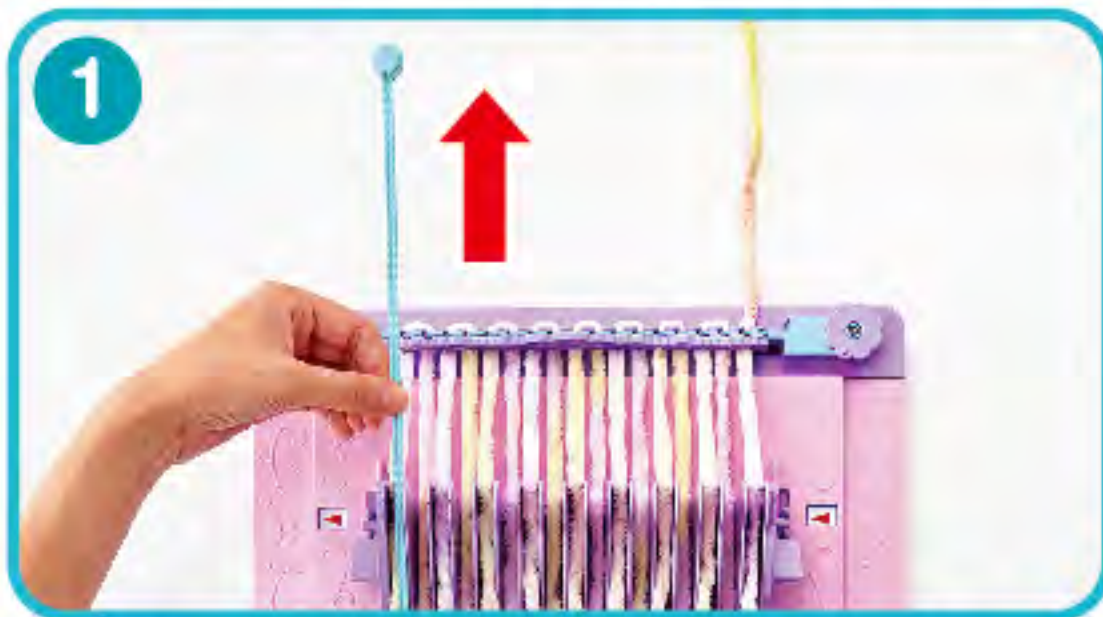
⑩ ゆるみを取るようにタテ糸を引っ張り、ロックダイヤルを毛糸の太さによってロック(太)か(細)に合わせます。

ぼう お
3. まっすぐ棒をセットして、織ります



まっすぐ棒をセットしてから、P4の4を参考に織っていきます。

4. 織地を本体から外します



① 必要な長さまで織れたら、まっすぐ棒キャップを外し、まっすぐ棒を引き抜きます。



② ロックダイヤルをフリーに合わせます。



③ タテ系おさえパーツを外し、すべてのタテ系をタテ系ロック部から外します。*P6の6-③を参照。



④ タテ系をそろこパーツから外します。



⑤ タテ系を糸ガイドパーツから外します。

5. 織り終わりの始末をします



① タテ系ロック部にかけていた方の糸は、輪になっている部分と最後の糸端を切ります。



② P6の7を参考に、作品に合わせてヨコ系、タテ系の始末をします。
*画像はタテ系もヨコ系と同じように織地を通して処理したものです。

作品を作ってみよう!

マフラーを作ろう!



糸の準備

使用する毛糸：〈ヨコ系〉ヨコ系用毛糸 × 2玉
〈タテ系〉タテ系用毛糸 × 1玉

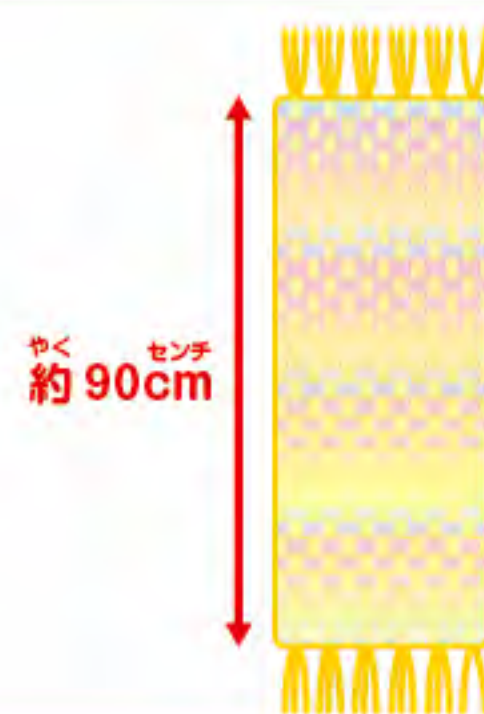
ヨコ系をシャトルに巻いておきます。
タテ系を約 140cm × 17本切っておきます。

織る

幅 17本分で約 90cm 織ります。
*織り方は P3「長いものを織ってみよう!」を参照。

仕上げ

タテ系は隣同士でまとめて結んで
フリンジにしてください。



リボンと毛糸でポーチを作ろう!



糸の準備

用意するもの：ビーズ × 1個
使用する糸：〈ヨコ系・縫いつけ用〉ハマナカ わんぱくデニス ピンク(5)約 15g、パープル(49)約 7g、白(1)約 7g
〈タテ系〉リボン(4mm幅)約 77cm × 15本 (*セット内容には含まれません。)

ヨコ系を 2本取りでシャトルに巻いておきます。(2本取り：2本を 1束にすること)

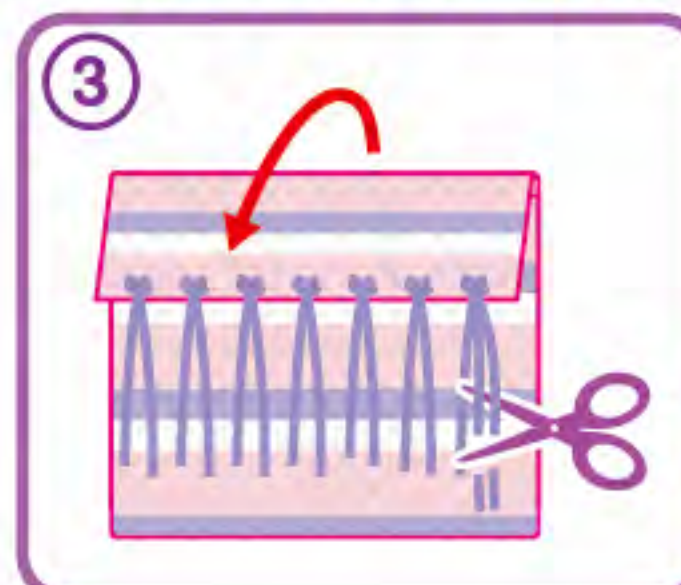
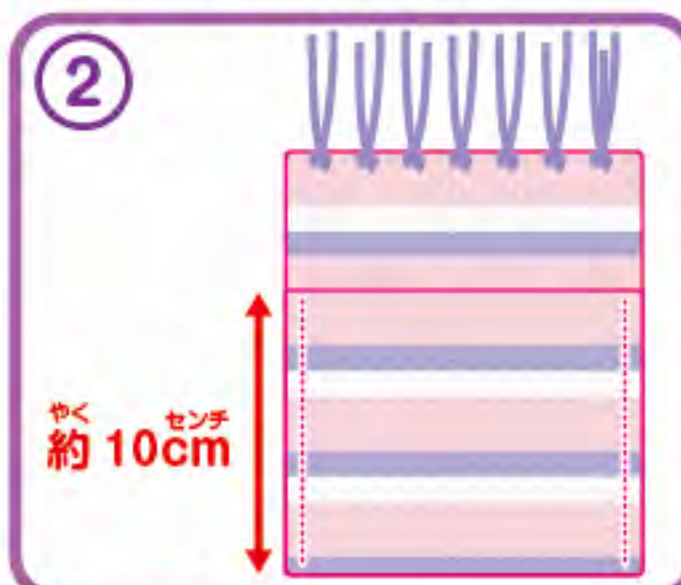
織る

幅 15本分で約 27cm 織ります。
*織り方は P3「長いものを織ってみよう!」を参照。
*色の替え方は P2「糸のつき足し・変更の仕方」を参照。

約 27cm

仕上げ

- 片方のタテ系は、隣同士でまとめて結んでフリンジにし、反対側のタテ系とヨコ系は織地を通して処理します。
- 織地を下から約 10cm のところで折り返し、ピンクの毛糸で両端を縫います。
- リボンを切りそろえます。
- お好みでフタ部分にビーズを縫いつけてください。



糸の種類や糸端の処理を変えて
いろいろ作ってみよう!

※使用する毛糸などの量はあくまで目安です。

リボンポシェットを作ろう！



糸の準備

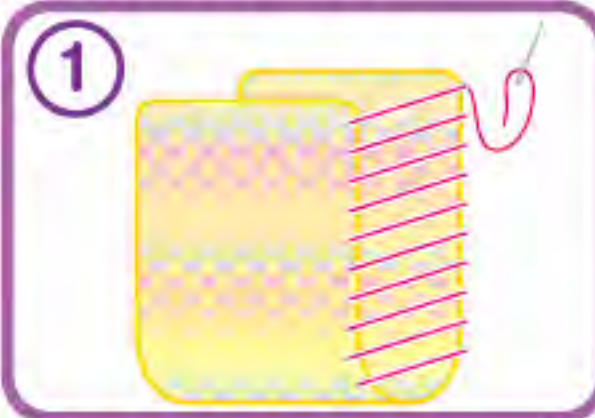
ヨコ糸をシャトルに巻いておきます。
ひも用を約 130cm×6 本切っておきます。

織る

幅 17 本分で約 40cm 織ります。
※織り方は P3「長いものを織ってみよう！」を参照。
※タテ糸とヨコ糸は織地に通して処理します。

仕上げ

- ① 半分に折って、両端を巻きかがり縫い合わせます。
※巻きかがりの仕方は P10 を参照。
- ② 2 本 1 組にしたひも用毛糸 3 組で三つ編みを編みます。
※三つ編みの仕方は P10 を参照。
- ③ ひもを左右対称の位置で内側に縫いつけます。
- ④ お好みでリボンを結んでください。



ヨコ糸をさき布で作ってみよう！



タテ糸は
あさ
麻ひもを使うよ！

さき布の作り方

用意するもの：好きな柄の布

- ① さきたい幅のところにはさみで約 3cm 切りこみを入れます。
※幅は約 5mm ~ 1cm がおすすめ。
- ② 切りこみを入れたところを引っ張り、さきます。
※端は約 1cm さかずに残します。
- ③ 上の端から①・②と同じようにさきます。
- ④ 繰り返します。
- ⑤ 端をまるく切ったら完成です。



タペストリーを作ろう！



使用する糸：

- 〈ヨコ糸〉糸①ハマナカ ポニー ピンク(465) 適量
- 糸②ハマナカ ソノモノスラブ<超極太>白(31) 適量
- 糸③ヨコ糸用毛糸 適量
- 糸④ハマナカ ポニー 薄グリーン(407) 適量
- 糸⑤さき布 適量 ※「さき布の作り方」を参照。
- 糸⑥ハマナカ ルーポ 白(1) 適量

〈タテ糸〉麻ひも 約 130cm×8 本

〈フリンジ用〉糸 A 極太毛糸(パープル)約 12cm×8 本 糸 B ハマナカ ソノモノスラブ<超極太> 白(31)約 22cm×8 本
糸 C ハマナカ ソノモノループ 白(51)約 22cm×16 本

〈壁掛けひも用〉ハマナカ ポニー ピンク(465) 約 45cm×1 本

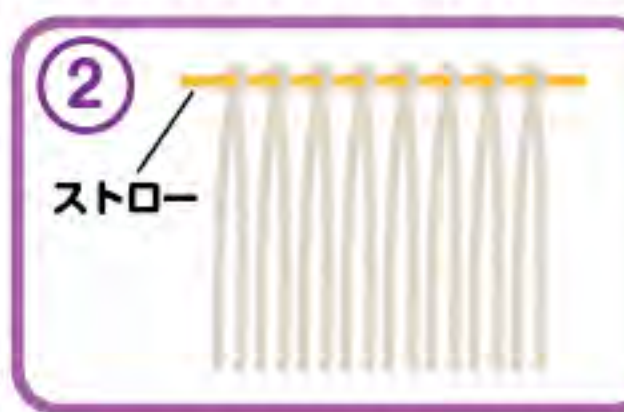
用意するもの：ストロー×1 本、ビーズ×1 個 (※ヨコ糸用毛糸以外はセット内容には含まれません。)

糸の準備

- ① ヨコ糸を糸①からシャトルに巻いておきます。
※糸①、④、⑥は 2 本取りで巻きます。(2 本取り：2 本を 1 束にすること)

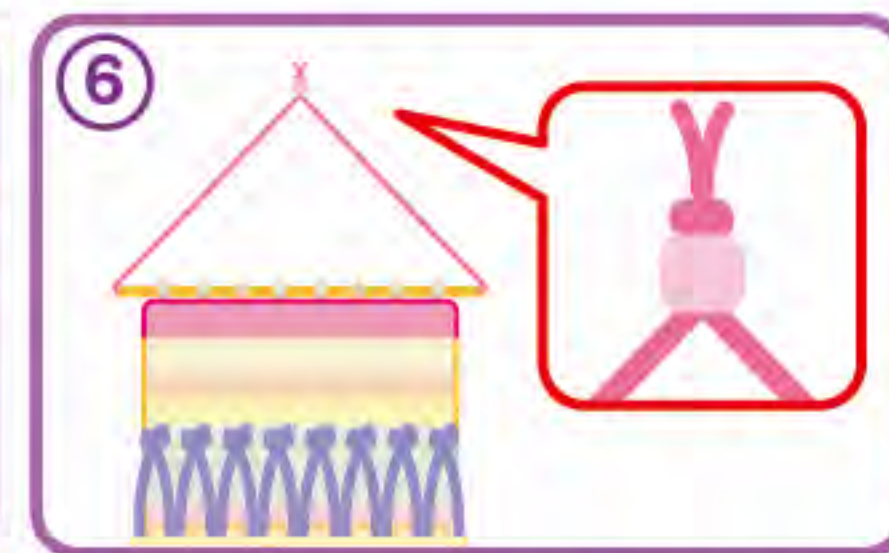
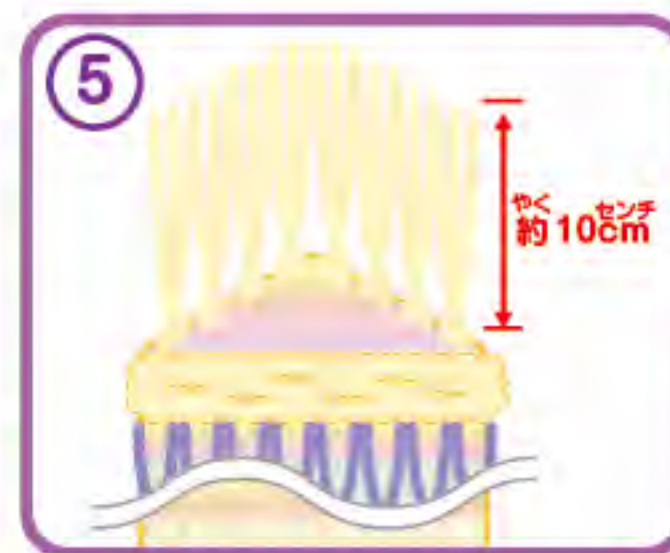
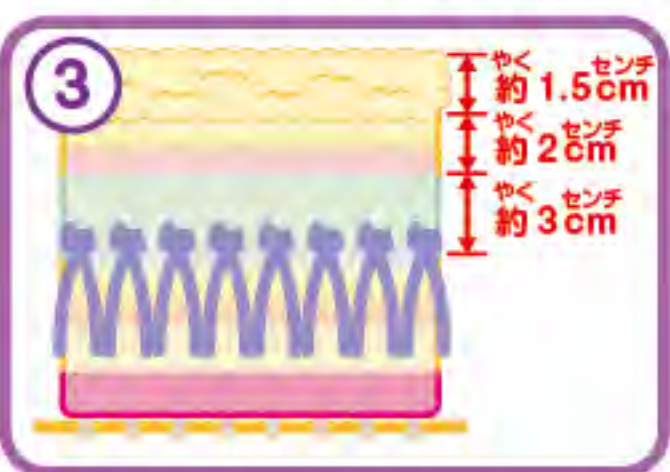
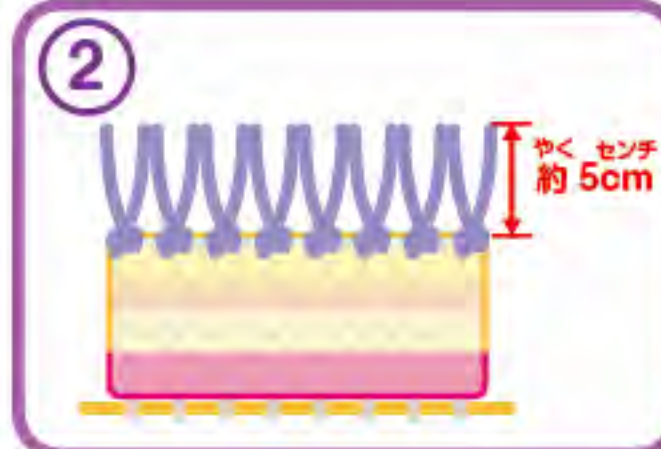
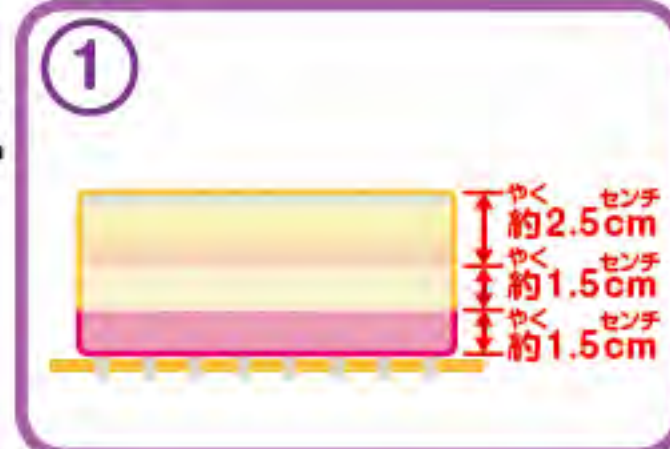
織る

- ② タテ糸用の約 130cm のひもを半分に折ってストローに結びます。
- ③ ストローは布巻きバーの爪の手前にセットし、布巻きカバーで固定します。
- ④ 糸ガイドパーツは使わずにそうこうパーツ、タテ糸ロック部の溝にタテ糸をかけていきます。



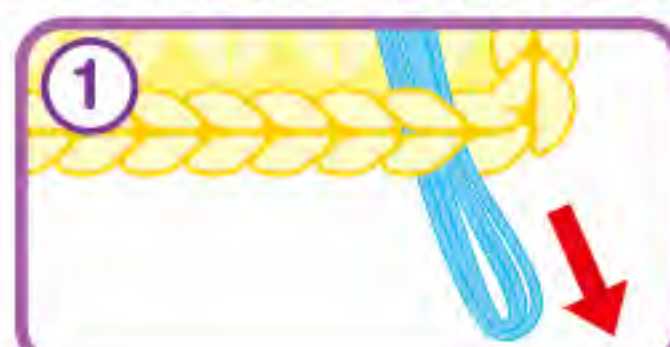
仕上げ

- ① 糸①で約 1.5cm、糸②で約 1.5cm、糸③で約 2.5cm 織ります。
※織り方は P3「長いものを織ってみよう！」を参照。※色の変え方は P2「糸のつき足し・変更の仕方」を参照。
- ② フリンジ用の糸 A で 8 束分フリンジを付けます。※「フリンジの付け方」を参照。
- ③ フリンジの下に、糸④で約 3cm、糸⑤で約 2cm、糸⑥で約 1.5cm 織ります。
- ④ 糸③で図のように糸を通し、端が三角形になるように約 4.5cm 織ります。
タテ糸とヨコ糸は織地に通して処理します。
- ⑤ 端にフリンジ用の糸 B を 1 本と糸 C の 2 本を 1 束にして、8 束分フリンジを付けます。
フリンジを切りそろえます。
- ⑥ 織りはじめにセットしたストローに毛糸を通し、ビーズを付けてから結びます。



フリンジの付け方

- ① フリンジを付けたい目に、2 つ折りにした毛糸の束を通して途中まで引き出します。
- ② 輪の中に毛糸の束を通してそのまま引き抜きます。



バイカラートートバッグを作ろう！



使用する毛糸：<ヨコ糸・縫いつけ用>ハマナカ ボニー ピンク(465)約 45g、
ハマナカ ボニー パープル(612)約 45g
<タテ糸>ハマナカ ボニー 白(401)約 110cm×34本
<取っ手用>ハマナカ ボニー 白(401)約 150cm×18本

用意するもの：ビーズ×4個

(※セット内容には含まれません。)

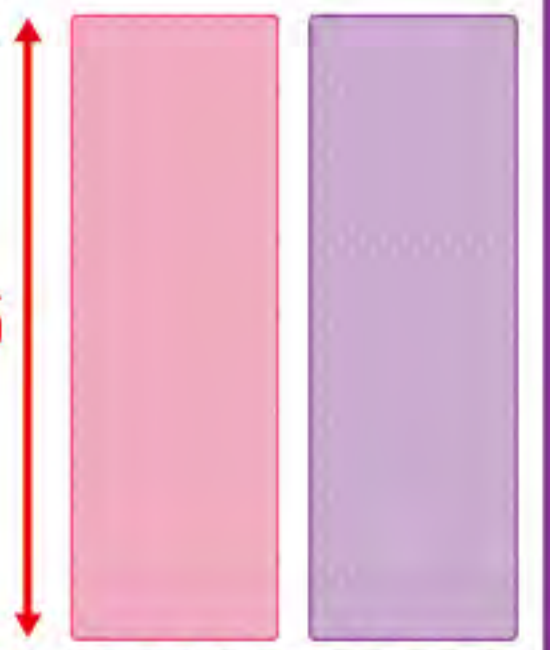
糸の準備

ヨコ糸を2本取りでシャトルに巻いておきます。
(2本取り：2本を1束にすること)

織る

幅17本分で約60cm織ります。(ピンク、パープルを各1枚)
※織り方はP3「長いものを織ってみよう！」を参照。
タテ糸とヨコ糸は織地に通して処理します。

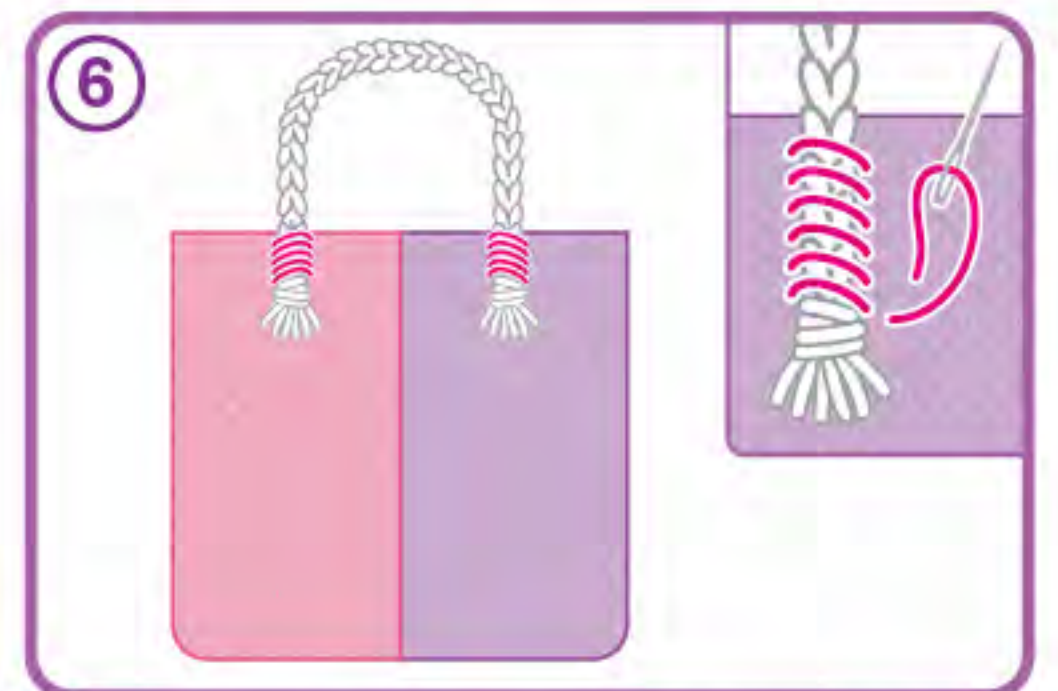
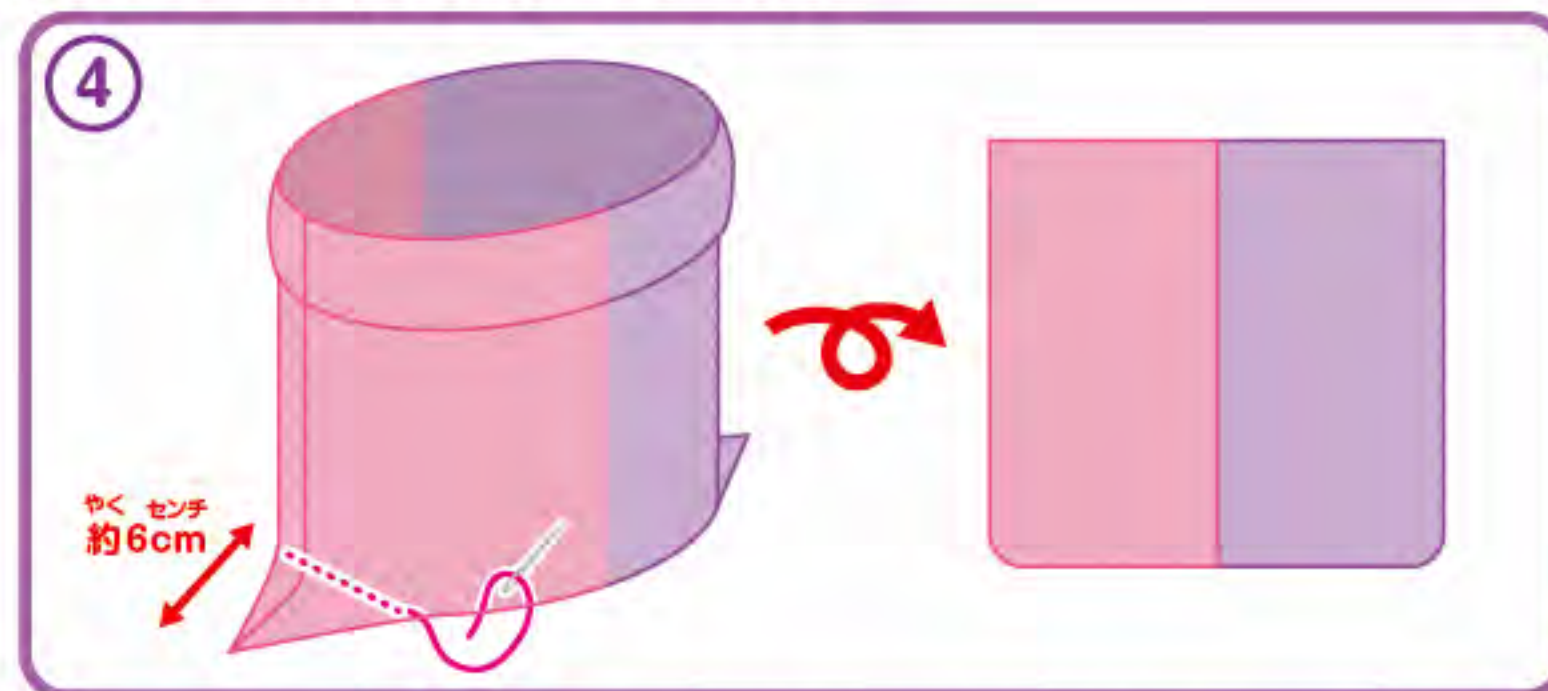
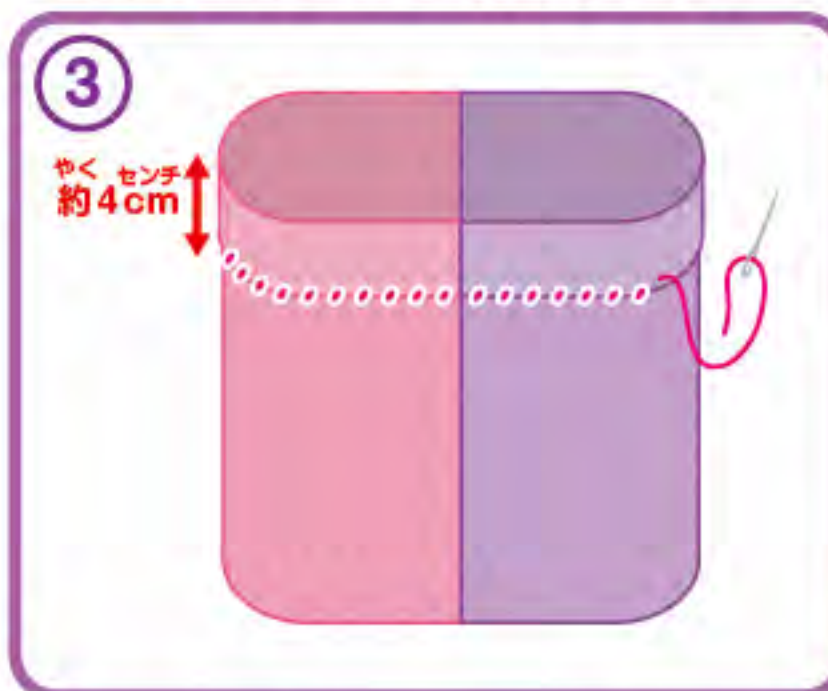
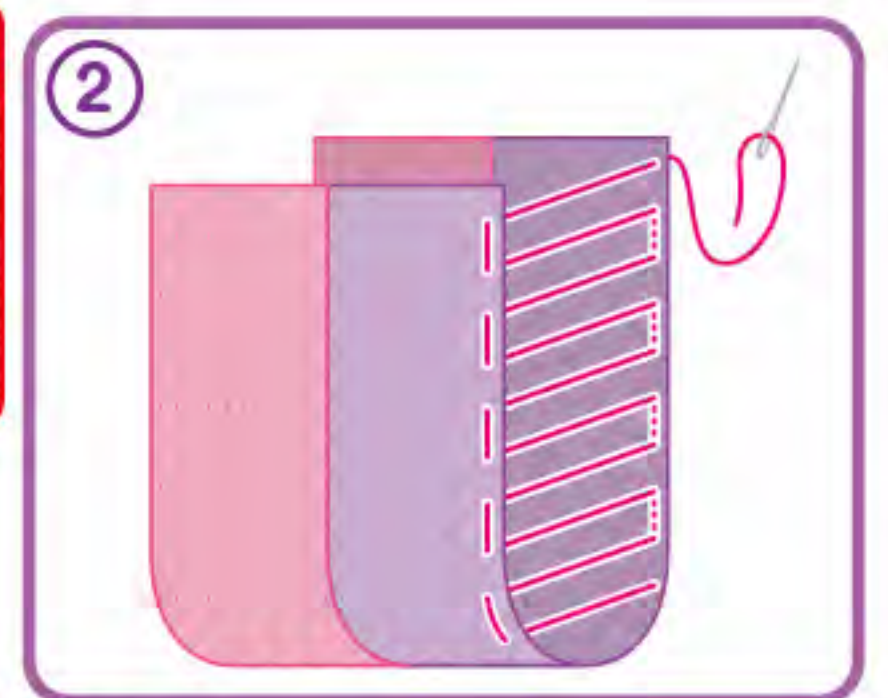
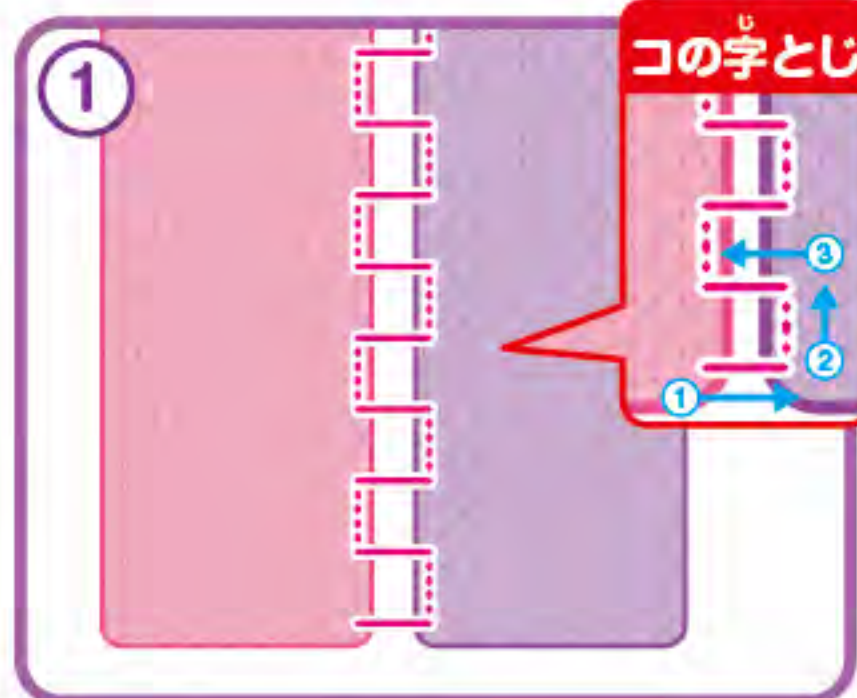
約60cm



仕上げ

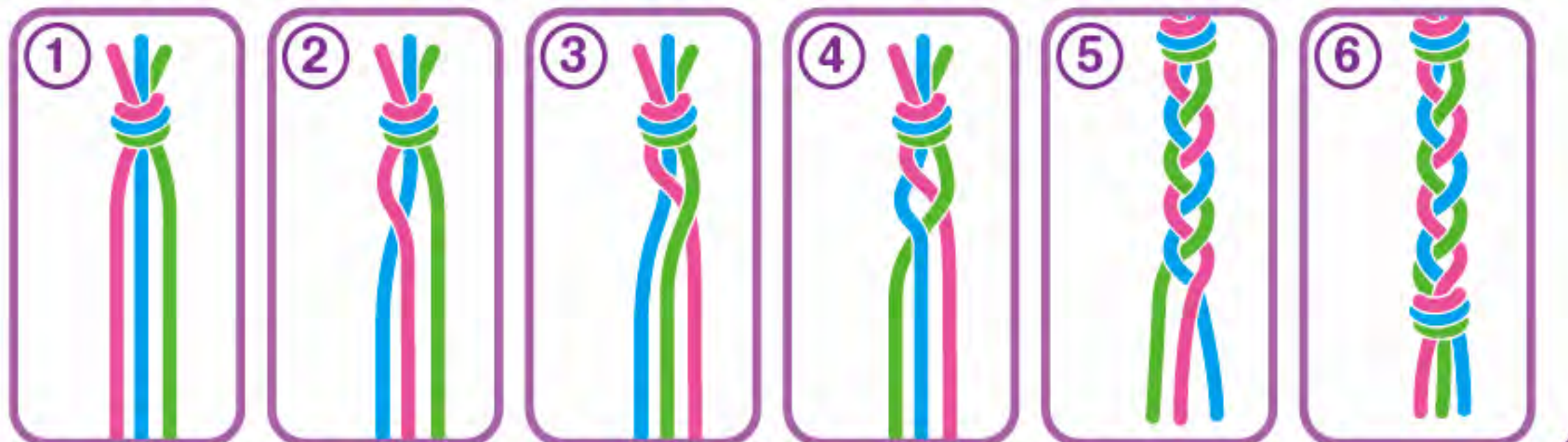
組み立てます。

- ① ピンクとパープルの織地を、コの字とじて縫い合わせます。
- ② 半分に折って、両端をそれぞれ織地と同じ色の毛糸を使い、コの字とじて縫い合わせます。
- ③ 上から約4cm 外側へ折り返し、織地と同じ色の毛糸で縫います。
- ④ 両側の端を三角形に折り、織地と同じ色の毛糸で縫います。縫えたらひっくり返し、縫い合わせ部分を内側にします。
- ⑤ 3本1組にした取っ手用毛糸を3組使って、三つ編みを2本編みます。※「三つ編みの仕方」を参照。
- ⑥ 両面に取っ手を縫いつけます。 ⑦ お好みでビーズを縫いつけてください。



三つ編みの仕方

- ① 3本を固結びします。
- ② 左の1本を他の2本の間へ移動します。
- ③ 右の1本を交差した2本の間へ移動します。
- ④ 左の1本を他の2本の間へ移動します。
- ⑤ ③～④を繰り返します。
- ⑥ 欲しい長さまで編めたら3本を固結びします。



ストールを作ろう！



使用する毛糸：ハマナカ ソノモノ ヘアリー 白(121) (※セット内容には含まれません。)
<ヨコ糸>約 80g、<タテ糸>約 170cm×68本 (2本取りで使用)

糸の準備

ヨコ糸を2本取りでシャトルに巻いておきます。
(2本取り：2本を1束にすること)

織る

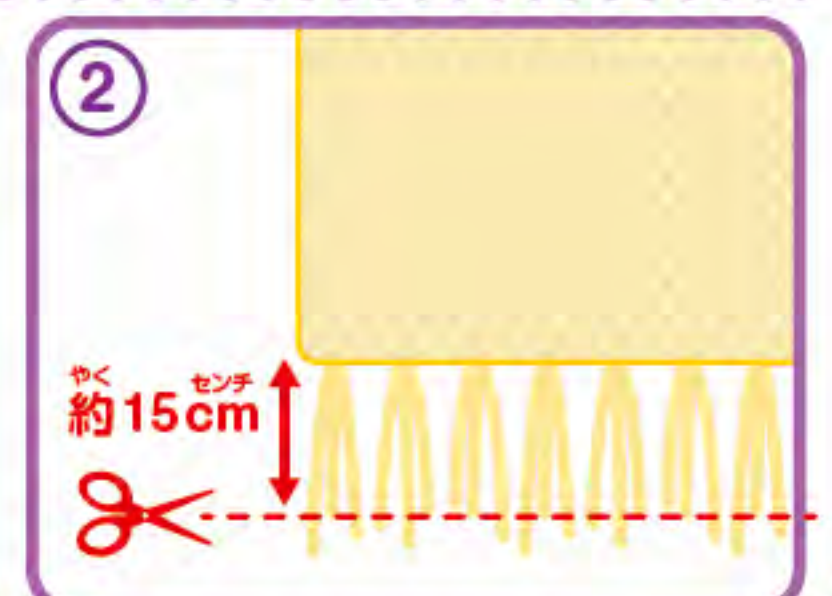
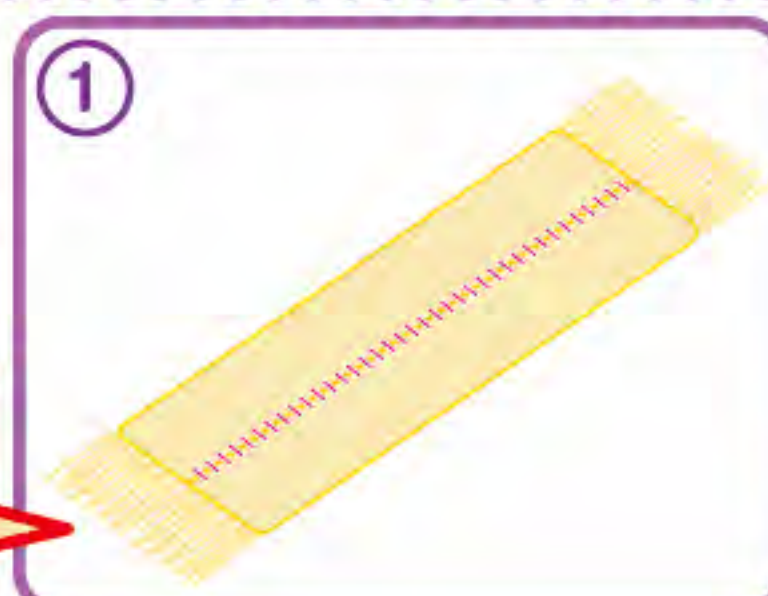
- ① 糸端が約20cm残るように輪を作り、2本取りで幅17本分タテ糸をかけます。
- ② 約115cm織ります。2枚織ります。※織り方はP3「長いものを織ってみよう！」を参照。

仕上げ

- ① 2枚をゆるめに巻きかがり縫いで縫い合わせます。
- ② 糸端を切りそろえます。

巻きかがりの仕方

巻くように、図のようにかがります。



約115cm

約15cm

うさぎを作ろう!

使用する毛糸：〈ヨコ糸・タテ糸・縫いつけ用〉毛糸 × 3玉

(ふわふわした毛糸がおすすめ!)

用意するもの：目パーツ × 2個、鼻パーツ × 1個、わた 適量

(※セット内容には含まれません。)

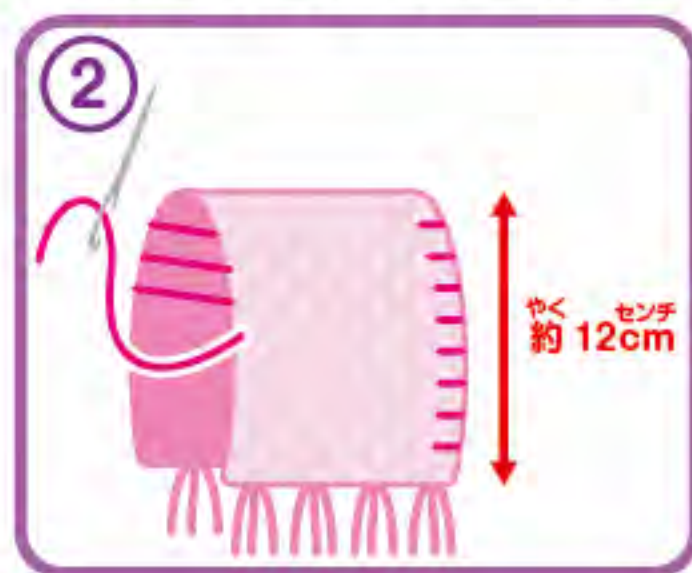
糸の準備

ヨコ糸をシャトルに巻いておきます。

織る(頭)

※織り方はP3「長いものを織ってみよう!」を参照。

- ① タテ糸を長さ約74cmで13本用意し、約24cm織ります。
- ② 織地をタテ半分に折り、両端を巻きかがりで縫い合わせます。
※巻きかがりの仕方はP10を参照。
- ③ わたを入れ、端を毛糸で細かく縫い、縮めます。



織る(体)

※織り方はP3「長いものを織ってみよう!」を参照。

- ① タテ糸を長さ約67cmで13本用意し、約17cm織ります。
- ② 束ねたタテ糸を内側に折り込みながら巻きかがりで縫い合わせます。
- ③ 端を毛糸で細かく縫い、縮めます。
- ④ わたを入れ、反対側も細かく縫い、縮めます。

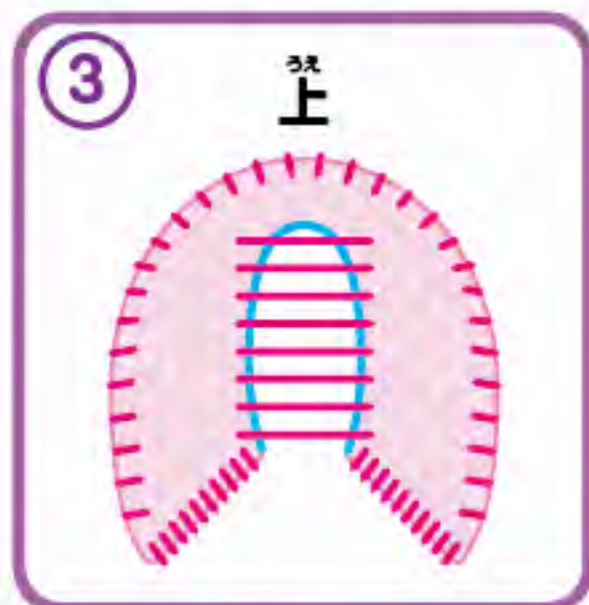
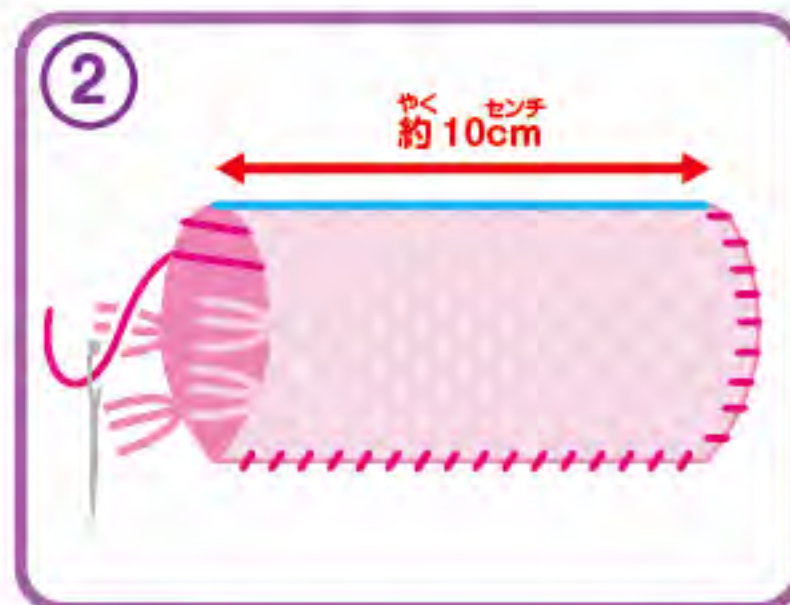


POINT 角をつぶすように手で形を丸く整えよう!

織る(鼻)

※織り方はP7「短いものを織ってみよう!」を参照。

- ① 幅7本分で約10cm織ります。
- ② 織地をヨコ半分に折り、束ねたタテ糸を内側に折り込みながら、3辺を巻きかがりで縫い合わせます。
- ③ 半分に折り、図のように巻きかがりで縫い合わせます。
※このとき、折った方が仕上げのときに上になります。



織る(耳・手・足・しっぽ)

※織り方はP7「短いものを織ってみよう!」を参照。

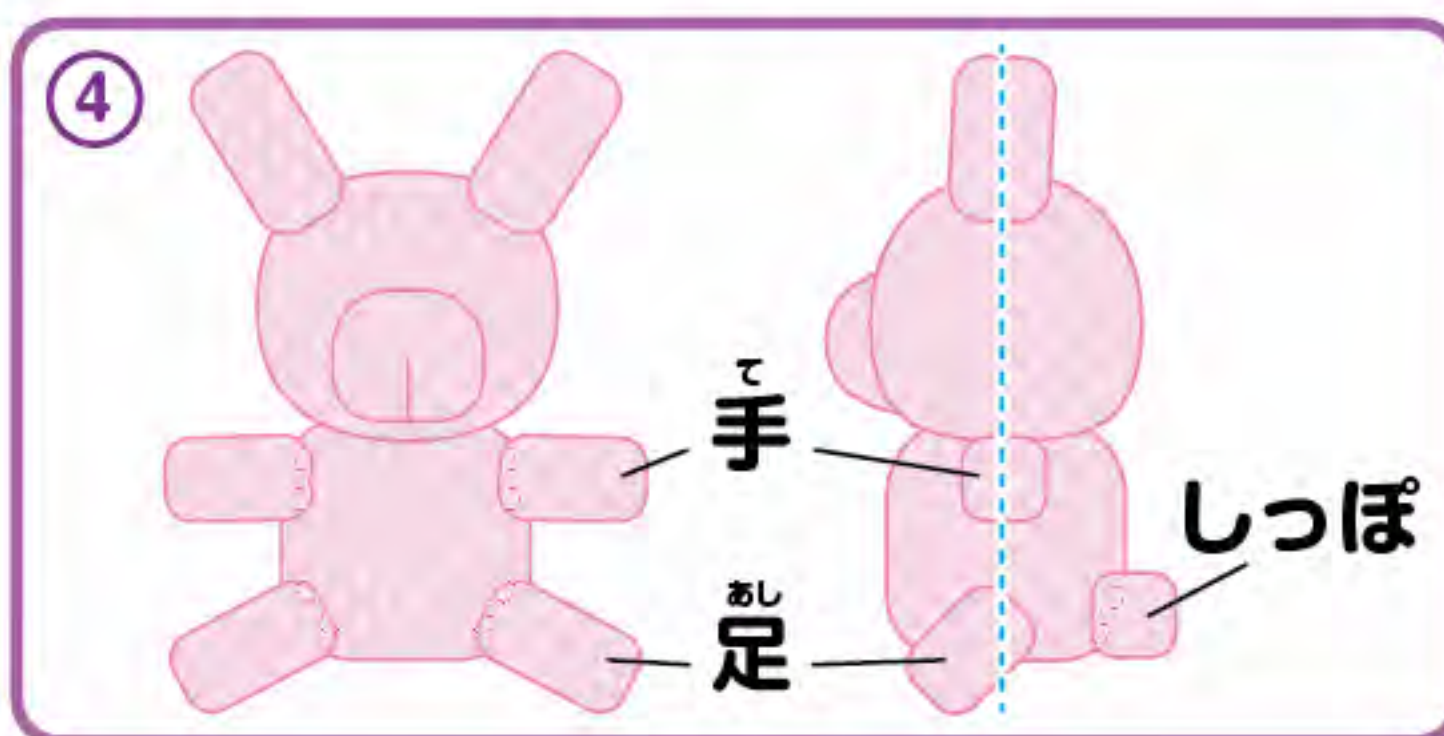
- ① パーツを織ります。
・耳... 幅7本分で約6cmの長さを2つ織ります。
・手... 幅7本分で約6cmの長さを2つ織ります。
・足... 幅7本分で約7cmの長さを2つ織ります。
・しっぽ... 幅7本分で約5cm織ります。
- ② 端を巻きかがりで縫い合わせ、筒状にします。
- ③ 端を細かく縫い、束ねたタテ糸を内側に折り込みながら縮めます。
- ④ わたを入れ、反対側も細かく縫い、縮めます。



仕上げ

組み立てます。

- ① 頭と体をコの字として縫いつけます。
※コの字とじの仕方はP10を参照。
- ② 頭に耳をコの字として縫いつけます。
- ③ 頭に鼻をコの字として縫いつけます。
- ④ 体に手・足・しっぽをコの字として縫いつけます。
- ⑤ 目・鼻パーツを余った毛糸で縫いつけます。
糸の両端を結び、糸端は中に入れてください。



※使用する毛糸などの量はあくまで目安です。

おまけ

いろいろなリボンでアレンジ！好きな毛糸、大きさに作れるよ！

基本の作り方



好きなサイズで織ります。



毛糸を真ん中に2~3重巻いて結びます。



真ん中を結ぶときにヘアゴムを通そう！

細く棒状に織ったもので真ん中を結んでもかわいい！



ニット帽などに縫いつけてみよう！



Q&A

●上手に織れません。

織り方の説明をよく読んで織ってみてください。ヨコ糸を強く引っ張りすぎないように、余裕を持たせながら織ってみましょう。ホームページで動画も公開しております。

●タテ糸の長さはどう決めたら良いですか？

長いものを織るとき…1本の長さは作りたい織地の長さ+約50cmが目安になります。短いものを織るとき…P7「タテ糸をセットします」を参考にしてください。

●ヨコ糸を通すと抜けてしまいました。

ガイドマークが、ヨコ糸を通す向きになっています。左向きときは右から左へ、右向きときは左から右へ通してください。

●ひみちが狭くてシャトルが通りません。

シャトルにヨコ糸を巻きすぎないようにしてください。織り進んでひみちが狭くなった場合はP5「巻き取ります」を参考に織地を巻き取ってください。

●まっすぐ棒がずれてしまいます。

ヨコ糸を引っ張りすぎると、まっすぐ棒がずれてしまうことがあります。引っ張りすぎないように織りましょう。

●左右のまっすぐ棒が上下逆に動きます。

タテ糸を奇数分張ると、上下同じ方向に動きます。

●布巻きバーのハンドルが回りません。

織地を巻き取るときは、タテ糸ロック部のロックダイヤルがフリーになっていることと、糸ガイドパーツが外されていることを確認してください。

織地を布巻きバーから外すときは、ハンドルを引っ張りながら回してください。(P6「織地を本体から外します」を参照。)

●そうこうパーツが倒れません。

タテ糸を張りすぎている可能性があります。ゆるみがない程度で張っている状態にしてください。

●セット内容の毛糸以外も使うことはできますか？

市販の毛糸なども使用することができます。おすすめの毛糸は中細～超極太毛糸です。

ラブあみ 織り機 検索



詳しい作りかたはホームページでもご覧になれます。
<http://www.agatsuma-girl.jp/>

お買い上げのお客様へ

このたびは当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。品質管理には十分注意をしておりますが、万一お気付きの点がございましたら、当社「お客様相談室」までご連絡ください。

株式会社アガツマ お客様相談室

☎(04)7126-6611

〒278-0015 千葉県野田市西三ヶ尾字溜台340-13

電話受付時間 月～金曜日(祝祭日除く) 9:00～12:00、13:00～16:00

※写真・イラストは製品とは多少異なりますのでご了承ください。

PINOCCHIO®
ピノチオ

株式会社アガツマ

東京都台東区浅草橋3-19-4 〒111-8524
アガツマホームページ <http://www.agatsuma.co.jp>